

資 料

## CS 教会研究の歴史と資料の現状 (2)

鄭 賢 珠

はじめに

同志社大学人文科学研究所が所蔵するキリスト教社会問題研究（略称CS）関係資料のうち、マイクロフィルム化された教会資料群（以下、教会資料と総称）の悉皆調査・目録化作業が進められている。教会資料の調査・収集・研究経緯は、田中智子「CS 確立期における「回顧と展望」<sup>(1)</sup>」や遠藤浩・水内勇太「CS 教会研究の歴史と資料の現状<sup>(2)</sup> (1)」をご参照願いたい。

本稿は、遠藤・水内氏の作業を引き継ぎ、教会資料のなかで、目録が刊行されている霊南坂教会文書と、「CS 教会研究の歴史と資料の現状 (1)」で取り上げられた組合教会系資料を除く、残り合計35リールの中身を紹介する。今回対象としている資料を教会名で列挙すると次の通りである。（ ）の中はリール数。

萩教会 (5) / 防府教会 (3) / 柳井教会 (3) / 下関教会 (1) / 下関丸山教会 (2) / 周陽教会 (1) / 徳山教会 (3) / 宇部緑橋教会 (2) / 和戸教会 (1) / 東京中会 (3) / 浪花中会 (2) / 日本聖公会京都教区 (9)

これらの教会資料は、I 山口県下の諸教会資料、II 旧日本基督教会の中

会・大会資料、Ⅲ 聖公会資料に大別できる。以下、この順に概説し、Ⅰ・Ⅱに関する目録を掲載する。

## Ⅰ 山口県下の諸教会資料

CS研究会は1968年度から「教会研究グループ」を設け、従来続けてきた日本プロテスタント各派・各個教会の資料収集活動を、さらに山口県（岩国、柳井、下松、徳山、防府、下関諸教会）や岡山県（高梁、倉敷、岡山諸教会）等に拡大し、現地で調査した撮影複写分をマイクロフィルムで収集、所蔵した。<sup>(3)</sup>山口県下におけるキリスト教、とくに、長府・防府・下関・下関丸山・萩教会の所蔵する教会資料の調査作業は、その後も行われマイクロフィルムに収めた、<sup>(4)</sup>としている。これらの調査作業の成果は、萩教会、防府教会、柳井教会、下関教会、下関丸山教会、周陽教会、徳山教会、宇部緑橋教会所蔵資料として残されている。

上記の教会を教派によって、旧日本基督教会系（萩教会、下関教会、周陽教会、宇部緑橋教会）、メソヂスト教会系（防府教会、徳山教会、下関丸山教会、柳井教会）に分類することができる。

近隣の教会との交流・協力を通して教派全体の事業を協議・遂行しており、教派に報告するための資料が多く見られ、各教会の資料だけでなく他の教会に関連する資料を所蔵していることもある。

旧日本基督教会系は、山陽中会関連の資料が多く見られる。山口県下の諸教会は鎮西中会に属していたが、1892年山陽中会が建設されると、山陽中会に属することになる。

萩教会所蔵資料には、山陽中会記録、山陽中会宛報告（統計表）、山陽中会修養会書類などが含まれている。宇部緑橋教会所蔵資料も山陽中会宛報告（統計表）が多く、その作成のための元資料が集められている。

特に、下関教会所蔵資料（請求番号：141-Z、リール数：1、状態：ふつう、箱に簡単な資料目録あり）は山陽中会記録のみ収集されている。時期で見ると、1898年5月14日（第13回）から1930年10月13日（第45回）までの手書き記録が収められている。山陽中会記録は、既に刊行されているため、本稿では解題・目録を省略する。<sup>(5)</sup>

一方で、メソヂスト教会系の資料には西部年会、山陽部会、四季会記録が多く収録されている。<sup>(6)</sup>

下関丸山教会所蔵資料には、1907年から1932年まで（欠あり）の四季会記録が収められている。最初の四季会記録である「日本メソヂスト広島部山口区四季会記録（一）」<sup>(7)</sup>には、四季会議員陣容が記載されており、『自明治三十六年六月三日第三四四季会至／広島部山口巡回区／四季会記録』<sup>(8)</sup>（日本メソヂスト山口教会所蔵）の続きとみられる。日本メソヂスト山口教会所蔵資料に日本南美以教会広島部山口巡回区の四季会記録があるが、徳山講義所（のち、徳山教会）、三田尻講義所（のち、防府教会）なども含まれている。

防府教会所蔵資料は、1908年から1941年までの四季会記録を含んでいる。「日本メソヂスト教会西部年会広島部三田尻牧会区四季会記録」<sup>(9)</sup>としているように、広島部山口巡回区から三田尻牧会区が分離され四季会が開催されるようになり、1909年には、独自の三田尻教区四季会記録紙まで作成し、記録している。ここには徳山教会の報告も含まれている。柳井教会も1906年の時点で三田尻教会に属していたことを考えると、下関丸山教会や防府教会所蔵資料が徳山教会や柳井教会の草創期をも知りうる資料であることがよくわかる。

山口県下の諸教会資料には、以上紹介した資料の他に個々の教会記録、教会員名簿、週報その他の刊行物、教会会計簿が多く収集されている。本稿末尾に教会ごとの簡単な解題と目録を掲載する。

## II 旧日本基督教会の分会・大会資料

1877年日本基督一致教会が生じた。その憲法である「教会政治」によれば、一個教会の教師と長老の組織である小会と、複数の教会の教師・長老の組織である分会、さらにその分会がいくつか集まってできる大会からなりたっている。<sup>(10)</sup>

1881年2月、分会は三分し、北部分会（東京日本橋以北）、東部分会（東京日本橋より横浜以南）、西部分会（中国および九州）が設立した。これらの分会の上に大会が創設され、第1回大会が開催されるのは1881年11月のことである。1885年11月中会の名称が変わり、東部分会を第一東京分会、北部分会を第二東京分会と改めた。西部分会も浪花分会と鎮西分会に二分（1886年）、さらに1891年に鎮西分会から山陽分会が分離した。<sup>(11)</sup>この諸分会は大概毎年春秋二度その地方で会合して既定の事務を執行し、大会は第5回までは2年ごとに開会された。<sup>(12)</sup>当教会資料には、日本基督一致教会時期からの分会、大会関連資料が収録されている。

### 1 東京分会記録 1878（明治11）年～1944（昭和19）年

「東京分会記録」（請求記号：122-S.T.U、リール数：3、状態：ふつう）の箱には、東京分会記録 No.1（明治11年～明治28年）、東京分会記録 No.2（明治31年10月～大正14年10月）、東京分会記録 No.3（1926年4月～1944年4月）と書いてあり、東京神学大学所蔵資料を複製した資料群と推測される。リール2～3巻は、マイクロフィルムの形態で東京神学大学図書館が所蔵しているもので、リール1巻はリール2巻より前の時期の東京分会関係記録類の簿冊を複製してマイクロフィルム化したものとみられる。資料目録と簡単な紹介を、Iの目録の次に掲載する。

### 2 浪花分会記録 1885（明治18）年～1942（昭和17）年

浪花 (のち、浪華、浪速) 中会記録は、1885年12月第1回記録から載っているが、教会所蔵ではなく東京神学大学がまとめて所蔵していたものをマイクロ化したものと思われる (資料の中に大学の印あり)。

マイクロフィルムの箱タイトルは、「浪華中会録」(請求記号：124-Y~Z、リール数：2、状態：ふつう) で、第1回 (1885年12月) 浪花中会から第53回 (1930年4月) 浪速中会までの記録がリール1巻、第53回の続きから第64回浪速中会記録 (1941年4月) と日本基督教団第一部浪速中会区第一回中会記録 (1942年5月) がリール2巻に収録されている。

本記録はすべて刊行物で、表題は第1~4回浪花中会記録、第5~28回浪華中会記録、第29~31回浪花中会議事録寫、第32~46回浪華議事録摘要、第47~52回浪花中会記録、第53~64回浪速中会記録になっており変化が多い。

同志社大学人文科学研究所や神学部には雑誌の分類で、「浪花中會議事録摘要」(1920年、1923年 第43回、第46回)「浪花中會記録摘要」(1927年 第50回)、「浪花中会記録」(1928年~1939年 第51~55回、第57~59回、第61~62回)「日本基督教團第一部浪速中會區中會記録」(1942年 第1回) が所蔵されている。

### 3 山陽中会記録 1898 (明治31) 年~1930 (昭和5) 年

下関教会所蔵資料 (箱タイトル：下関教会資料、請求番号：141-Z、リール数：1、状態：ふつう、箱に簡単な資料目録あり) には1898年5月14日 (第13回) から1930年10月13日 (第45回) までの山陽中会記録が収められている。手書き資料であるが、先述のごとく山陽中会記録は全文刊行されているため、<sup>(13)</sup> 目録を省略する。

### 4 大会記録 1881 (明治14) 年~1900 (明治33) 年

和戸教会所蔵資料は一綴13冊の日本基督一致教会大会関連の記録である (箱

タイトル：和戸教会所蔵日本基督教会中会記録、請求記号：116-W、リール数：1、状態：ふつう)。すべて刊行物で、簿冊名は次の通りである。

「日本基督一致教会大会事務章程」「明治十四年十一月日本基督一致教会第一回大会記録」「日本一致基督教会第三回大会記録」(明治18年11月24日)、「日本基督一致教会第四回大会記録」(明治20年5月3日)、「明治二十二年五月／日本基督一致教会第五回大会記録 附臨時大会記録」「明治二十三年十二月／日本基督一致教会第六回大会記録」「明治二十四年十一月／日本基督教会第七回大会記録」「明治二十五年十一月／日本基督教会第八回大会記録」「明治二十七年七月／日本基督教会第九回大会記録」「明治二十八年七月／日本基督教会第拾回大会記録」「明治三十年七月 日本基督教会第拾壹回大会記録」「明治三十一年七月 日本基督教会第拾貳回大会記録」「明治三十三年七月 日本基督教会第拾參回大会記録 附結婚葬式模範」

第1回(1881年)から第13回(1900年)までの大会記録の綴である(ただし、第2回大会記録は欠録)。1878年に設立した和戸教会が所蔵している教会資料ではあるが、日本基督教会全体に係る大会記録であり、大会記録を抜記した『日本基督教会史』<sup>(14)</sup>などに詳しいため、解題は省略する。

同志社大学人文科学研究所や神学部には、雑誌の分類で「日本基督教会大会記録」(1901年～1940年 第15、17、19、21、31、33、35～54回)が所蔵されている。なお、国立国会図書館デジタルコレクションで「日本基督教会大会第八回大会記録」(1893年)が閲覧できる。

### III 聖公会資料

「日本聖公会京都教区所蔵文書ウイリアムス主教文書1～9」(請求記号：123-C～I、Y～Z、リール数：9、状態：ふつう)には、聖公会京都教区資料室所蔵のC・M・ウイリアムス文書が収められている。C・M・ウイリア

ムス (1829年～1910年) は、1856年清国宣教師、1859年に米国聖公会伝道局派遣日本宣教師となり、長崎に着任。1866年清国及び江戸主教聖別、1869年大阪、1873年東京に移り、1874年日本専任の主教となる。1887年日本聖公会組織成立総会議長を務め、1888年帰国。1895年に再び来日し1908年まで京都地方部宣教師として各地に伝道を行った。<sup>(15)</sup>

1973年に調査・収集されたこの資料には、所蔵番号が I で始まる129件の文書資料と、II で始まる503件の書簡資料が収録されている。<sup>(16)</sup> マイクロフィルムの箱に以下の所蔵番号が書いてある。

リール 1 巻：I - A / 26 / 26 ~ I - B1 / 1 / 72

(箱タイトル：日本聖公会京都教区所蔵文書ウイリアムス主教文書 1 請求記号：123 - C)

リール 2 巻：I - B1 / 2 / 73 ~ I - B2 / 21 / 92

(箱タイトル：日本聖公会京都教区所蔵文書ウイリアムス主教文書 2 請求記号：123 - D)

リール 3 巻：I - B2 / 22 / 93 ~ I - B3 / 26 / 97

(箱タイトル：日本聖公会京都教区所蔵文書ウイリアムス主教文書 3 請求記号：123 - E)

リール 4 巻：I - B3 / 27 / 99 ~ II - B / 92 / 97

(箱タイトル：日本聖公会京都教区所蔵文書ウイリアムス主教文書 4 請求記号：123 - F)

リール 5 巻：II - B / 93 / 98 ~ II - B / 220 / 225

(箱タイトル：日本聖公会京都教区所蔵文書ウイリアムス主教文書 5 請求記号：123 - G)

リール 6 巻：II - B / 221 / 226 ~ II - B / 343 / 348

(箱タイトル：日本聖公会京都教区所蔵文書ウイリアムス主教文書 6 請求記号：123 - H)

リール 7 巻：II - B / 344 / 349 ~ II - C / 6 / 503

(箱タイトル：日本聖公会京都教区所蔵文書ウイリアムス主教文書 7 請求記号：123 - I)

リール 8 巻：I - A / 1 / 1 ~ I - A / 6 / 6

(箱タイトル：日本聖公会京都教区所蔵文書ウイリアムス主教文書 8 請求記号：123-Y)

リール9巻：I-A/7/7~I-A/25/25

(箱タイトル：日本聖公会京都教区所蔵文書ウイリアムス主教文書 9 請求記号：123-Z)

時期不詳の資料も多いが、1861年長崎居住時の日本語学習資料<sup>(17)</sup>から1930年「昭和五年十一月一日／故ウイリアムス老監督／二十周年建碑紀念絵葉書」<sup>(18)</sup>まで幅広く収められている。大江満著書の「関連文献」欄に「日本聖公会京都教区資料室所蔵文書」が載っており、「目録作成一同志社人文科学研究所・杉井六郎教授、1973年10月」と述べられていることから、CS研究会活動で整理した目録の一部が同書に掲載されたものと思われる。同書には、書類34件、書簡<sup>(19)</sup>135件の目録が掲載されている。

## 注

- (1) 『キリスト教社会問題研究』同志社大学人文科学研究所、第63号、2014年。
- (2) 同前、第64号、2015年。
- (3) 「研究会だより」同前、第14・15号、1969年。
- (4) 同前、第18号、1971年。
- (5) 日本基督教会山陽中會記録出版委員會編『日本基督教会山陽中會記録 一八九一年—一九四二年』新教出版社、1990年。
- (6) 中村金次『日本メソヂスト教会条例』日本メソヂスト教会、1928年。
- (7) 下関丸山教会所蔵資料 Reel No. 2 (請求記号：122-P)、末尾目録資料番号11。
- (8) 日本メソヂスト山口教会所蔵「四季会記録」1891年一、マイクロフィルムより写真複製 (同志社大学人文科学研究所私製)。
- (9) 防府教会所蔵資料 Reel No. 1 (請求記号：141-N)、末尾目録資料番号10。
- (10) 日本基督教会大会事務所『日本基督教会憲法諸規則 附大会決議摘録』、1938年。日本基督教団宣教研究所教団資料編纂室編『日本基督教団史資料集第1巻 日本基督教団の成立過程 (一九三〇—一九四一年)』日本基督教団宣教研究所、1997年。
- (11) 日本基督教会柳川教会編『日本基督教会鎮西中會記録 明治十四年(一八八



- 一) 一昭和十八年(一九四三)』新教出版社、1980年。
- (12) 日本基督教会大会編纂委員編『日本基督教会歴史』、1897年。
- (13) 注(5)参照
- (14) 山本秀煌『日本基督教会史』日本基督教会事務所、1929年。この他、『日本基督教会憲法諸規則 附大会決議摘録』(注10)や『日本基督教会歴史』(注12)も参照。
- (15) H. セントジョージ・タッカー主教著、加納重朗訳『日本における米国聖公会の働きーウイリアムス主教の遺した道』日本聖公会京都教区ウイリアムス神学館、2000年。
- (16) 「研究会だより」『キリスト教社会問題研究』同志社大学人文科学研究所、第22号、1974年。
- (17) 1-B2/16/87、箱タイトル：日本聖公会京都教区所蔵文書ウイリアムス主教文書2、請求記号：123-D。
- (18) I-A/45/45、箱タイトル：日本聖公会京都教区所蔵文書ウイリアムス主教文書1、請求記号：123-C。
- (19) 大江満『宣教師ウイリアムズの伝道と生涯：幕末・明治米国聖公会の軌跡』刀水書房、2000年。

## 凡例

- ・資料はⅠ 山口県下の教会資料を教派（Ⅰ旧日本基督教会 Ⅱメソジスト教会）に分類したうえで、教会の創立年の順に掲載した。創立年は、基本的に『日本キリスト教歴史大事典』教文館 1988年、および『キリスト教年鑑』キリスト新聞社 2016年を典拠とした。  
なお、Ⅱ 旧日本基督教会の中会・大会資料のなかで、Ⅰ東京中会記録の目録と簡単な紹介をⅠの目録の後に掲載した。
- ・資料のタイトルがマイクロフィルムの箱に記入されているが、統一性がないため、資料のタイトルを新たに「〇〇教会所蔵資料」と付した。
- ・目録はリールごとに番号を付した（ex. 下関丸山教会所蔵資料 Reel No. 1）。
- ・マイクロフィルムの箱に記入された資料名については「箱タイトル」として解題に記載した。
- ・同志社大学人文科学研究所がすでに付している請求記号を新たにタイトルの後ろに付した（ex. 下関丸山教会所蔵資料 Reel No. 1（請求記号：122-O））。
- ・目録の項目「番号」は資料それぞれにつき新たに付した。簿冊となっているものは1簿冊1資料として扱い、番号を付した。教会ごとに通し番号を付した。
- ・「表題」は基本的に資料の表紙などに付されたものをそのまま採用した。改行は「／」で表した。表題の重複を避けるため、表紙に執筆の年が付されている場合は表題に含めた。表題と思われる記述が資料中に見当たらない資料については適当な表題を〔 〕をつけて新たに付した。
- ・「年」は、基本的に起筆の年を記した。執筆が長期にわたる資料（教会日誌など）については、執筆終了年が定かなものは「～」を用いて期間を記し、定かではないものについては起筆の年のみを記した。
- ・表紙等に記された資料の作成者が各教会名ではなく、個人名の場合は、備考

に「作成者： 」と記した。

- 「備考」にはそのほか各資料について必要と思われる情報をできる限り採用した。
- 解題には資料についての簡単な解題と「設立年」「請求記号」「箱タイトル」「期間」「リール数」「状態」「参考文献」を記した。「期間」については、全リール中最も古い資料から新しい資料の年を採用した。「参考文献」においては各教会を知るうえで最低限必要な資料・研究等について、教会史を中心に簡単に紹介をした。
- 解題の記述においては西暦を採用したが、目録の「備考」においては原資料を尊重し、和暦を採用した。

#### 解題・目録 一覧

番号	資料教会名	解題	目録
1-(1)	萩教会	134頁	148頁
1-(2)	周陽教会	136頁	151頁
1-(3)	宇部緑橋教会	137頁	152頁
2-(1)	防府教会	139頁	152頁
2-(2)	徳山教会	141頁	154頁
2-(3)	下関丸山教会	143頁	157頁
2-(4)	柳井教会	146頁	158頁

## 解題

### I 山口県下の諸教会資料

#### 1-(1) 萩教会所蔵資料

- ・設立年：1887（明治20）年
- ・請求記号：122-V～Z（Reel No. 1～5）
- ・箱タイトル：日本基督教団萩教会所蔵資料1～5
- ・期間：1889（明治22）年～1963（昭和38）年
- ・リール数：5
- ・状態：ふつう ただし、週報、小会記録の一部状態不良。一部のみ撮影した資料あり

篠田一人が萩教会を訪ねて集めた資料を杉井六郎が整理したものである。リール1巻の冒頭に資料の簡易な目録と訪問・資料整理の記録が残されている。全5巻のリールに47件の資料が収集されており、箱には資料番号と駒数が書いてある。

資料は、会員書類（資料番号3～9）、委員会記録・日誌（資料番号14～15、17）、教会日誌・日記（資料番号16、18～21）、週報（資料番号23～33）、会計・登記関係書類（資料番号34～40）、雑件綴（資料番号10～13）、小会記録（資料番号17、22）に大別できる。

1901年～1948年の会員名簿・名簿カード、1901年～1925年の会計書類、1914年～1931年の委員会記録・日誌、1929年～1937年の教会日誌類（1934年欠）、1931年～1943年までの週報、1931年～1953年の小会記録が網羅されている。昭和初期から戦前までの資料が豊富で、週報、委員会記録、教会日誌、小会記録など多様な資料からこの時代を眺望することができる。他の時代に比べ、大正期の資料は日誌類は乏しいが、会計書類は多く、書類綴が残されているため、

当時の教勢を確認することができる。特に1921年の会堂建築関係の書類は設計図、登記関係、会計書類までまとめて収集されている。

週報綴には、山陽中会統計表、山陽中会教報、書信、各種集会パンフレット、会計関連資料が多く差し込まれている。

また、石津彦之進が作成した日本基督教維持財団関係書類も2点収められている(資料番号41、47)。

萩教会は、1887年アメリカ長老教会西部伝道会社山口支部として伝道を開始、1893年8月ミッションから独立して日本基督一致教会萩講義所となるが、翌年6月から大規模な迫害にあい、瓦町に講義所を移したが火事で焼失。1904年10月萩町中央に移転したが教勢は回復せず、1907年12月講義所は解散し山口ミッションの説教所となった。その後、1911年再び講義所に昇格、1912年9月に東田町に会堂用家屋と敷地を購入した。1922年会堂新築、1924年現在の瓦町の敷地を購入、移転してから順調に宣教活動を続け、1935年4月日本基督教会萩教会と改称。1941年日本基督教団に所属するようになった。

教会の外部活動が窺える資料として、朝鮮伝道後援会への拠出(資料番号35、1910年10月14日朝鮮伝道後援会長熊野雄七の名前で、「朝鮮伝道後援会趣意書」を添え、各教会に充てられたもの。拠出金などメモ書きあり)、大震災関係書類(1923年9～10月)、1925年8月28日京城基督教聯合会からの礼状(資料番号37、朝鮮各地の水害義金の援助)、『神の国運動』集会関連の賀川氏巡回時間表(資料番号45、『山口県基督教聯盟報』(印刷物、昭和6年)に付随)なども興味深い。

なお、リール5巻の末尾に4件の資料調査カードも収録されている(資料なし、カードのみ。各1枚)。「電報送達紙」(独立教会建設に関する祝電38枚、臨時総会(1933年8月27日)に関する電文2枚)、「会計関係書類綴」(1921年2月萩教会堂建築寄付金申込書綴、1922年萩教会建築趣意書発送簿、会堂建築費受領証綴込)、「伝票支出之部」(1925年4月～1927年3月)、「伝票収入之部」

(1925年4月～1927年3月)である。

【参考文献】

- ・日本基督教団萩教会『創立110周年記念誌』、2000年。
- ・百周年記念誌編集委員会編『百年記念誌』日本キリスト教団萩教会、1987年。
- ・日本基督教団山口教会編『山口教会百年誌』日本基督教団山口教会、1981年。

1-(2) 周陽教会所蔵資料

- ・設立年：1890（明治23）年
- ・請求記号：141-M（Reel No. 1）
- ・箱タイトル：周陽教会資料
- ・期間：1932（昭和7）年～1957（昭和32）年
- ・リール数：1
- ・状態：ふつう ただし、教会歴史草稿は状態不良

冒頭に、簡単な資料目録と「調査者：篠田一人、杉井六郎、太田雅夫 調査日：昭和43年11月28日 整理者：杉井六郎」の記載がある。1巻のマイクロフィルムに4件の資料が収集され、そのうち2件は教会歴史に関する草稿で、残りの2件は小会記録と総会記録である。

資料番号1「周陽教会略史」には、1926年4月教会堂建設の計画より1933年11月教会堂定礎に至るまでの年譜、歴代伝道師・牧師・宣教師名、会堂建設委員名、教会員名、1945年7月戦火のため全会堂焼失ののち、1955年建築費調達を完了するまでの略史が記録されている。

資料番号2は、教会歴史編纂の準備のために書いた原稿の手書き資料で、修正箇所も多く、完成文でもないが、教会の初期状況が書かれている。これによると、1880年現在の山口教会が創立され、その活動を津和野・三田尻・徳山・岩国に伸ばし、講義所・教会が生れた。この徳山講義所が周陽教会の前身で、1890年に伝道が開始されている。翌年の5月には山口教会より信徒5名が分離

し日本基督一致教会徳山講義所が設置され記録には「一名洗礼ヲ受ケタリ。全体求道者少シ」とある。出席は平均6名。祈祷会も月1回であった。周陽教会と改称したのは1932年であるが、1945年7月26日戦火にみまわれ貴重な資料も焼失してしまった。

資料番号3は、周陽教会として開催された定期小会の記録である。1932年5月15日第1回定期小会が教会で開催され、議長中村寛、長老の勝屋茂吉、姫野忠治、江口孝、石丸五郎、浅田信夫、岩崎普夫が出席して「定期小会期日の件」など6つの議事を議論したことが記載されている。記述は簡単であるが、独立教会としての歩みがみられる資料である。その後、小会議事は定期総会に提出する諸案件に関するものも多く、周陽日本基督教会定期総会報告、周陽日本基督教会定期総会議案、献金明細が添付されている。

なお、マイクロフィルムの末尾に「永眠関係者名簿」(1968年9月22日)が調査カードのみ収集されている。

#### 【参考文献】

- ・『日本キリスト教団周陽教会創立九拾年記念誌』、1980年。

### 1- (3) 宇部緑橋教会所蔵資料

- ・設立年：1924 (大正13) 年
- ・請求記号：122-Q~R (Reel No. 1~2)
- ・箱タイトル：宇部緑橋教会資料4~5
- ・期間：1924 (大正13) 年~1958 (昭和33) 年
- ・リール数：2
- ・状態：ふつう

二つのマイクロフィルムに8件の資料が収集されている。

教会報告の統計表(資料番号1)や会員記録(資料番号2)、教会規則並認可書類(資料番号3)、独立教会になった以降の小会、委員会、総会、長老会

記録（資料番号4～7）などが収録されている。

他の教会より教会設立時期（1924年）が遅いが、設立当時から統計報告書類や昭和10年代から30年代初期までの会議記録で戦時期の教会の様子が窺える。

大正中期、炭鉱の全盛に伴って人口が4万を超え、村から市になった宇部を日本基督教会大会伝道局が伝道開拓地として重視し、集中伝道地に選定、1924年6月辻本四郎が徳島より宇部に派遣され伝道が開始される。教会年譜によると、宇部緑橋教会創立日は1924年6月7日で辻本が着任した日であった。大会伝道局直轄で非自給教会である伝道教会が設立されたとされるのは、1年後である1925年6月7日になっている。伝道教会ゆえに大会伝道局への報告が定期的に行われた。

宇部伝道教会は昭和初期になると、教会を堅実に育成するために、定期集会と家庭訪問、特別伝道、会堂建築、小野田、厚狭への出張伝道を行うようになり、1937年5月宇部教会として自給独立教会になった。山陽中会（現西中国教区）の中堅教会にランクされるが、この年の統計表をみると、教状概要に「転出者の多数なるは厚狭伝道所を分離し中会直属となしたるによる。上半期に比し下半期は集会人員減したるは日支事変の影響に依る」として前年末総会員101名から本年末総会員が76名に減ったことを説明している（資料番号1）。

1941年6月に日本基督教団成立で宇部緑橋教会と改称し、翌年には太平洋戦争必勝祈願礼拝を行い、教会規則を制定しているが、これに関連する資料も収録されている（資料番号3）。この時期以降1954年までの教区、支教区公文書や教会堂建築関係一括書類もある（資料番号8）。

なお、「教会堂建築関係書類一括」が調査カードのみリール2巻の末尾に付されている。

#### 【参考文献】

- ・宇部緑橋教会創立90周年記念事業委員会編『緑橋90年：宇部緑橋教会九十周年記念誌』、2015年。



- ・宇部緑橋教会創立80周年記念事業委員会編『緑橋80年：宇部緑橋教会八十周年記念誌』、2010年。
- ・宇部緑橋教会創立70周年記念事業委員会編『緑橋70年：宇部緑橋教会七十周年記念誌』、1999年。
- ・宇部緑橋教会創立60周年記念事業委員会編『緑橋60年：宇部緑橋教会六十周年記念誌』、1985年。
- ・宇部緑橋教会創立50周年記念事業委員会編『緑橋50年：宇部緑橋教会五十周年記念誌』、1974年。

## 2-1(1) 防府教会所蔵資料

- ・設立年：1890年（1906年か）
- ・請求記号：141-N、O、P（Reel No. 1～3）
- ・箱タイトル：防府教会資料1～3
- ・期間：1906（明治39）年～1961（昭和36）年
- ・リール数：3
- ・状態：ふつう ただし、一部教会日誌状態不良、資料23は牧師一覧以降撮影なし

防府教会の設立年は、『キリスト教年鑑』に1890年、『創立一〇〇周年記念誌』には1906年と相違しており、前者は高田繁吉が山口から防府（三田尻）にきて伝道を行った年、後者は三田尻美以教会として正式に認可された年を基準にしている。

リール1巻の冒頭に、1968年11月29日篠田一人、杉井六郎、太田雅夫の3名が当教会を訪れ、収集した教会資料群であるとの記録とともに簡単な資料目録がある。3巻のリールに23件の資料が収集されており、会員名簿（資料番号2～3）、教会記録（資料番号4～5）、教会日誌（資料番号6～9）、四季会関係（資料番号10～19）、教会週報（資料番号20～21）、教会月報類が主をなしている。

教会記録と四季会記録は、1907年前後から1931年まで収集（一部欠あり）されており、週報は1934年から1939年まで、統計記録は1936年から1967年まで網

羅されている。

『創立一〇〇周年記念誌』は、教会記録（資料番号4～5）を教会設立以来書き続けられてきた最も貴重な記録と位置付け、教会史記述の中心にしているが、教会記録は1929年2月8日付をもって終わっているため、四季会記録で補っている（『創立100周年記念誌』29頁）。

なお、四季会記録は、三田尻教区報告（1910年10月21日）に主任牧師スチュワートが「過古一季間ニ於ケル働キハ別ニ変化ナシト雖ドモ新タニ聖書研究ノ中学生團ヲ作りスチュワート夫人ハ聖書研究ト料理会ヲ起シ前者弘中病院ニ於テ後者ハ私宅ニ於テ交ル交ル木曜日ニ開キツツアリ。余毎月二回徳山ニ時々三田尻教会ニ於テ説教シツツアリ」と、定期的に徳山や三田尻で説教を行っている様子を報告している（資料番号10）。

その後の四季会記録でも、しばらく三田尻講義所と徳山講義所の報告が中心となっており、三田尻教区四季会から防府教区四季会に名称が変わってからも徳山講義所の報告が続く（資料番号11～14）。1918年2月15日まで行われていた徳山教会の報告が、同年4月17日からは見られない（資料番号14）。徳山教会所蔵資料に、西部年会山陽部徳山教区四季会記録が初めて登場するのは、1918年6月13日である（徳山教会所蔵資料番号44）。

1904年10月初代牧師とされる砂本貞吉牧師が就任し、1906年9月1日三田尻美以教会として正式に認可された。当時、山口県には三田尻の外、山口（現・山口信愛）、徳山、岩国、久賀（現・大島）、柳井、下関（現・下関丸山）の七教会があった。同年10月5日教会会議で、三田尻教会に属していた柳井講義所が「今回再び岩国教会に属することとなり、これによって左の会員名簿を岩国へ送籍する」として、29名の名があげられている（資料番号4）。これによると当時は、柳井講義所が三田尻教会に属していたことがわかる。

以上のように、防府教会所蔵資料から、後述する徳山教会や柳井教会の様子が窺える。

【参考文献】

- ・日本基督教団防府教会記念誌委員会編『創立一〇〇周年記念誌』日本基督教団防府教会、2006年。
- ・牛見信夫ほか編『創立80周年記念誌』日本基督教団防府教会、1986年。

2- (2) 徳山教会所蔵資料

- ・設立年：1893 (明治26) 年
- ・請求記号：141-J~L (Reel No. 1~3)
- ・箱タイトル：徳山教会資料1~3
- ・期間：1914 (大正3) 年~1947 (昭和22) 年
- ・リール数：3
- ・状態：ふつう ただし、一部の教会日誌虫喰破損

冒頭に調査資料目録とともに、「調査日時：昭和43年11月 調査探訪：篠田一人、杉井六郎、太田雅夫 整理：昭和44年2月杉井六郎」と記載されている。3巻のリールに52件の資料が収集されており、教会員名簿、教会日誌、週報、四季会記録が主をなしている。特記すべきことは、1944年6月から1945年7月1日までの周陽教会の週報 (資料番号39、41) も含まれていることである。

教会日誌が1914年から1943年まで (資料番号5~22)、週報が1922年から1947年まで (資料番号23~43)、四季会記録は1918年から1931年まで (資料番号44~52) ほぼ揃っている。

四季会記録については、CS研究会が調査した1968年当時、徳山教会には1932年以降1941年までの記録も所蔵されていたことが3巻末尾の調査カードから確認できるが、この分は調査カードのみで撮影されていない。

徳山教会は教会史を編纂していないが、『南美宣教五十年史』に次のように記載されている。

「明治四十一年三月日本メソヂスト教会第一年会にて徳山地方の伝道は、三田尻に居住せし砂本貞吉出張応援し四十三年に至った。四十三年十月工藤繁来

任二年にして去り、四十五年奥村忠太郎代って赴任し、大正四年に至りしも、中途一時辞職する如き事もあり、進歩期待するに足るものはなかった。大正四年奥西善四郎来任するや局面一転、大正五年には下松に久原大工業の興りしをもって市況俄に一躍し大都市の域に入らんとせる機会を捕え、其處に一家を借入れて進出せんとした。また奥西は更にその活動の歩を緩めんとせず、同六年徳山町に敷地を借入れ、二千余円を投じて会堂牧師館を建て、十一月献堂式を執行した。会員は其の爲め二百余円を献金せしも、教勢財政ともに良好であった。翌七年には補助教会に進み、下松も教勢町勢の進歩に比例して発達著しかった。前途將に刮目見るべきものあらんとせしに、不幸大正八年三月十日奥西の急逝せしは惜しむべし。大正八年三好長造赴任し、時に病魔に苦しめらるるも猶活動を続け、九年には幼稚園を開いて教会外部への進出の道をも企てた」(110～111頁)。

最も古い四季会記録は、1918年6月13日西部年会山陽部徳山教区四季会記録であり、ここでは『南美宣教五十年史』で高く評価された奥西善四郎(1915年～1919年在任)牧師が日曜学校及び共励会、会員異動、教会の状況に関する報告を行っている。徳山教会は、以前は西部年会山陽部広島教区や三田尻教区に属していたため、山口教会四季会記録や前掲の防府教会四季会記録のなかで徳山教会初期の様子をうかがうことができる(資料番号44)。

大成運動(1919年)によって教会伝道局は、徳山を山口県下ミッションの活動の中心地と決め、1921年W・R・ウィクレーを徳山に定住させ、翌年に17418円95銭を費し宣教師館を完成し、伝道機関を完備させた。1924年三好長造が転任すると、米倉次吉、真武丈夫、松田明三郎が赴任するも各々1年で交代した。1930年藤田茂が赴任し、会堂牧師館の必要を感じ、1934年会堂、牧師館、幼稚園の竣工をし、ついに自給独立教会となった。

明治期の資料はないが、大正に入ってから教会日誌と週報が充実しているため、上記のような事柄が手書き資料で確認できる。

なお、リール3巻の末尾に17件の調査カードが収録されており、四季会記録(5件、昭和7年～昭和9年、昭和10年1月～11年1月、昭和11年、昭和13年10月～昭和13年12月、昭和14年～16年)、会計簿(2件、明治43年～大正3年、昭和16～17年度)、献金簿(昭和16年～20年7月)、教会報告控(大正4～大正7年)、幹事会日誌(大正11年4月19日～昭和8年10月23日)、共励会記録(大正4年10月10日～昭和17年3月19日)、日本メソヂスト教会婦人会(大正12年2月9日～大正14年1月21日)、備品記録(大正8年2月1日調)、原田愛三牧師履歴書、ペルモア退去御届(昭和15年03月06日)、J.W.フランクの教団証明葉(昭和15年4月)、徳山教会付属愛光幼稚園卒園記念写真帖(昭和9年)とある。

【参考文献】

- ・中村金次『南美宣教五十年史』南美宣教五十年記念運動事務所、1936年。

2- (3) 下関丸山教会所蔵資料

- ・設立年：1904(明治37)年
- ・請求記号：122-O～P (Reel No. 1～2)
- ・箱タイトル：下関丸山教会資料2～3
- ・期間：1904(明治37)年～1954(昭和29)年
- ・リール数：2
- ・状態：ふつう

冒頭に、「昭和45年11月26日訪問調査担当篠田一人、杉井六郎」という調査記録と調査目録がある。2巻のリールに21件の資料が収集されており、下関美以教会講義所沿革誌を先頭に教会記録(資料番号1～4)、下関市役所との往復文書(資料番号5～6)、教会員名簿(資料番号7～10)、四季会記録(資料番号11～15)、会計、教会建築関係書類が主をなしている。

「下関美以教会講義所沿革誌」は1904年11月19日下関美以教会講義所開設に

際し、講義所設立までの経緯を述べたもので（資料番号1、同資料は『下関丸山教会の百年 1904～2004』39頁に全文掲載）、「日本メソヂスト下関教会略史」は1938年9月18日会堂献堂日に際し、1904年11月講義所設立から1938年までの教会略史である（資料番号5）。これらによると、1904年11月当時門司美以教会の特別集会に列席した山口教会会員林彝彦氏及び小野栄治氏等が砂本貞吉牧師と会って下関市に伝道所設置の議を論じ忽ち意見の一致を見るに加え、山口在住の宣教師キャラハン氏の賛同を得て下関美以教会講義所を開設した。そして、1908年メソヂスト三派合同によって下関講義所を改めて下関教会と称し観音崎町に移転したのち、1914年ランバス監督の記念会堂建立が砂本貞吉牧師を中心に行われた。1916年1年間所属が九州北部に変更されたこともあったが、その後教勢は順調に伸び、1936年6月7日一切の補助金を謝絶して自給独立を宣言し、会堂建設実現に向って邁進、1938年9月18日ランバス記念会堂を建設した。

四季会記録は、1907年から1917年、1921年から1932年までである。最も古いのは、1907年6月22日から始まる「日本メソヂスト広島部山口区四季会記録（一）」（資料番号11）で、「注意 四季会ハ区内ノ教師、地方伝道師、勸士会吏及教会員タル組長、委託人、日曜学校長、ウェスレー共励会長ヨリ成ルモノトス」としたのち、四季会議員姓名簿が記載されている。これ以前の四季会記録は、『自明治三十六年六月三日第三四季会至／広島部山口巡回区／四紀会記録』（日本メソヂスト山口教会、同志社大学人文科学研究所所蔵）に含まれている。ちなみに、1908年以降は下関教会四季会記録という題名に変わる。

『下関丸山教会の百年 1904～2004』では、四季会を次のように説明している。「監督教会である、南美以教会の責任者が3ヶ月に1回その地区の教会を巡回して実状を確認するための会合。この時代で言えば、山陽部という本部から「主任長老」という肩書のマイヤス宣教師が「日本年会広島部山口区」のこの教会を公式訪問していたので、主部長老が議長となり、教会側からは牧師、伝

道師と会吏（教会役員）それに陪席者として日曜学校長、共励会長、婦人会長らが出席する。議事は定められた数十項目についての問答の形式で進められる。下関丸山教会には1907年から1934年まで、一部紛失しているが残っている」（48頁）。

本教会資料で最も新しいのは、1932年10月9日付で、教会が所蔵している四季会記録をすべて複写しているわけではない。

なお、教会の所属は山陽部会であったが、1916年1年間九州北部部会に変更せられた。「教会略史」（資料番号5）ではその理由を、伝道をより効果あらしめるために九州との緊密な連絡とその援助を必要としたからと説明している。これによって、1916年4月2日当教会で西部年会九州北部関門教区第一四季会が開催された。1917年度より山陽部会に復帰している。

資料番号16は、筑後国山内郡三橋村田中病院に入院中の釘宮辰生の見舞金を募る趣意書と寄附名簿である。釘宮（1872年～1947年）は、のちに日本メソヂスト教会監督を務める人物で山陽部長として西部年会で山陽部の報告を行い、教区の四季会では議長としてまとめ役に務める。趣意書の発起人が山口町岡小路牧師近藤薫、下関市岬之町牧師城戸荒吉となっていること、「然るに本年会より大坂西部教会に御転任に相成」と釘宮の転任を述べていることから1912年と特定する。伝記によると、釘宮は1912年3月12日病をおして長崎の西部年会に出席。大阪両国橋教会に任命を受ける。そして、重体に陥り、4月2日、九州柳河の田中病院に入院。加療4か月の後、別府に転地。11月8日大阪両国橋教会に赴任している（『釘宮辰夫伝』334頁）。

教会員名簿で興味深いのは、1907年山口メソヂスト教会名簿より小野栄治、林彝彦等16人が下関メソヂスト教会に移ったことや同年12月創立以来会吏であった小野栄治夫妻が韓国に転任し1910年6月京城教会に転会しているが、転会後も教会費を毎月送金していたことである。この夫妻だけでなく、朝鮮（京城旭町勧農銀行、竜山日韓瓦斯会社）や台湾、旅順に在住する教会員の記録もみ

える（資料番号7）ほか、石丸幸助牧師は1936年4月2日朝鮮・仁川教会へ転任するなど、外地と人的につながる資料も散在している。

#### 【参考文献】

- ・樽見栄編『下関丸山教会の百年 1904～2004』日本基督教団下関丸山教会、2007年。
- ・『創立80周年記念誌』日本キリスト教団下関丸山教会、1989年。
- ・倉田俊丸『釘宮辰夫伝』釘宮辰生記念事業会伝記出版委員会、1965年。
- ・山口信愛教会編纂委員編『山口信愛教会創立六十年史』山口信愛教会、1952年。

### 2-（4） 柳井教会所蔵資料

- ・設立年：1910（明治43）年
- ・請求記号：141-Q～S（Reel No. 1～3）
- ・箱タイトル：柳井教会資料1～3
- ・期間：1922（大正11）年～1961（昭和36）年
- ・リール数：3
- ・状態：ふつう

冒頭に、簡単な資料目録と「昭和43年11月27日 篠田一人、杉井六郎、太田雅夫 整理昭和44年2月15日杉井六郎」という調査記録がある。3巻のリールに38件の資料が収集されており、教会史の原稿（資料番号1～2）、教会日誌（資料番号3～11）、教会会議記録（資料番号12）、四季会記録（資料番号13～15）、役員会・共励会・組会記録（資料番号16～20）、統計類（資料番号21～23）、年会関連記録類に大別できる。

『南美宣教五十年史』によると、明治後期から柳井地域への伝道が始まり、吉見雅太郎が岩国から1か年出張伝道をなし、その後も小崎正静、工藤繁、石原淳一、祝部大介などが働いたが顕著な進歩発展はなかった（109頁）。

大正初期に久保光治（1917年赴任）の努力や大成運動の成果で教勢が順調に進み、1924年熊谷鐵太郎牧師の時には大会堂を建築した。1927年福原由郎が赴任し、教勢を拡張し附近の農村にも進出開拓伝道をなした。1931年伊藤賢人が



来任するや、牧師館を建築するなど自給に向かって進んだ (157頁)。

伊藤賢人来任や牧師館建築などの具体的な様子は、「日本基督教団柳井教会教会史」(資料番号1)で確認することができる。

「日本基督教団柳井教会教会史」は、1931年3月18日朝鮮京城教会で開催された日本メソヂスト西部年会で福原由朗に代わって近畿部山崎教会より伊藤賢人、婦人伝道師として山崎ひろ代が任命されたことから始まり、1960年3月まで時系列に教会の重要な事項を記録したものである。

1938年12月7日釘宮辰夫より伊藤賢人牧師宛てに自給教会としての発足を奨める書状が送られてくるが(資料番号38)、柳井教会は、翌年の4月自給教会となり、自給を祝し釘宮監督は7月29～30日柳井にきて大伝道会を開催した(資料番号1)。

資料番号2は、1961年12月久保光治が寄稿した教会略史編纂資料である。久保(1917年に赴任)は序文で柳井教会から教会略史編纂のための資料提出を求められて本資料の作成に当たったことを述べ、柳井町に於ける福音宣教の発端から始まり自分が福山教会に転任するまでのことを記述している。

統計や名簿類を除くと明治、大正期の資料はほとんどない。

資料番号12は「明治四十四年四月／教会々議記録／日本メソヂスト教会柳井講義所」という題名の簿冊であるが、撮影している内容は、1930年2月6日～1939年1月22日教会会議録と、教会備品目録(1929年6月調)、婦人会専用備品目録である。

#### 【参考文献】

- ・中村金次『南美宣教五十年史』南美宣教五十年記念運動事務所、1936年。
- ・倉田俊丸『釘宮辰夫伝』釘宮辰生記念事業会伝記出版委員会、1965年。

以上

(第19期第1研究会による成果)

# 目録

## I 山口県下の諸教会資料

### 1- (1) 萩教会所蔵資料

萩教会所蔵資料 Reel No. 1 (請求記号: 122-V)

番号	表題	作成年	備考
1	日本基督教教会／最古参考書／大正拾四年十月収集	1889(M22)年	手書き資料。表紙裏に「委員石津彦之進71才」とある。「椅子新調二付／回文／有志諸者 発起者」名簿、「廿二年九月水災義捐金」名簿、「寄贈物品受納簿」「寄贈物品分配簿など(明治24年7月18日)、入会通知書、転会状、「明治二十八年八月伝道費金収入原簿」(日本基督教会萩講義所)。
2	自明治三十八年至／日本基督教／萩伝道教会年報綴	1901(M34)年～1919(T8)年	日本基督教団中会統計用紙。明治34年～大正7年。その他、大正3～8年教会収支に関する統計表(手書き)。
3	明治三十四年六月起／会員名簿／日本基督教会／萩講義所	1901(M34)年	私製会員名簿形式。墨書(14)別帳(6)小児(4)転出永眠(8)。
4	会員名簿	1910(M43)年	会員規格名簿に記入。明治43年ごろの名簿。現在(9名)他出(13名)失踪(8名)転出(24名)死亡(2名)退会(1名)。
5	会員名簿	1908(M41)年	日本基督教会萩講義所会員名簿用紙。失踪、除名之部は明治41年まで。
6	他住会員	1934(S9)年	教会員原簿用紙、教会員規格用紙。他住会員(教会員原簿、大正6年生以降)、転籍願(昭和13年1月19日)、昭和19年6月会員名簿(規格用紙 昭和27年4月修正メモ書き)。
7	第貳号／会員名簿	1903(M36)年～1948(S23)年	教会員規格用紙。明治36年～昭和23年会員記録。住所不明者、別帳記入者、失踪会員、転出者、昇天会員。
8	[教会員名簿カード]	不詳	名簿カード用紙記入。現住会員、他所在住会員、転出、住所不明会員など。
9	日本基督教教会／会員名簿／昭和十三年度	1938(S13)年	小冊子、謄写版14頁。
10	明治三十四年六月起／雜要書類／日本基督教会／萩講義所	1898(M31)年	明治31年4月調萩講義所信徒(手書き)、日本基督教会山陽中会記録(明治33年5月、小冊子20頁)、第14回大会議事略報(明治33年10月印刷資料)、特別祈禱日ニ概ス(明治34年10月22日手書き)、明治35年2月5日中会議長服部書簡、明治34年(6月～12月)会計報告、説教所設立願(明治34年11月)、明治35年(4月～6月)収支報告、明治35年(1月～12月)会計報告、日本基督教会山陽中会記録(摘要)(明治35年4月小冊子17頁)、明治36年1ヶ年教状報告、説教所移転届、祝辞(明治37年12月)、明治37年10月修繕費計算書、萩講義所報告(明治34年6月～明治38年6月統計書)。

萩教会所蔵資料 Reel No. 2 (請求記号: 122-W)

番号	表題	作成年	備考
11	明治三十九年一月起／雜書／日本基督教会／萩講義所	1905(M38)年～1910(M43)年	和大。明治38年1月1日～明治43年5月日誌(手書き)、明治38年中講義所概略、同年萩講義所教勢概要、入会願、クリスマス一件書類(収支報告)、失踪者など諸届、定額献金者名簿、日本基督教会に撤す(印刷、明治42年12月25日)、日本基督教会伝道局四十三年度資金募集摘要(印刷)など、萩講義所報告(明治38年7月～10月統計書)。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (2)

12	大正十三年度以降／雑件巻	1922(T11)年 ～1924(T13)年	日本基督教会創立五十年記念運動に就て(大正12年7月パンフレット)、大震災関係書類(手書き、大正12年9月～10月)、大正11年度山陽中会統計表、財団法人設立許可願(手書き、大正13年11月)。
13	雑件綴／大正十四年度以降	1924(T13)年	大正13年統計報告(手書き)、田村兼助牧師昇天関係来往書簡(大正14年5月～7月)、大正12年度徴兵検査ニ現ハレタル群馬県社丁花柳病調査(大正13年2月、廓清会群馬支部／矯風会上毛部会 パンフレット)。
14	大正三年三月八日設備／委員会記録／日本基督教伝道教会	1914(T3)年 ～1929(S4)年	手書き資料。縦片面12行罫紙規格。大正3年3月8日～昭和4年12月15日。
15	昭和三年六月十日／委員会日誌／日本基督教伝道教会	1928(S3)年 ～1931(S6)年	手書き資料。縦片面10行罫紙規格。昭和3年6月10日～昭和6年12月13日。
16	自昭和四年杓月至／教会日誌／山口県萩瓦町／日本基督教教会	1929(S4)年 ～1931(S6)年	手書き資料。縦片面10行罫紙規格。昭和4年1月6日～昭和6年6月28日。
17	昭和六年五月／委員会記録／小会記録／萩日本基督教教会	1931(S6)年 ～1940(S15)年	手書き資料。縦片面12行罫紙規格。昭和6年5月10日～昭和15年7月7日。
18	第一号／昭和五年十二月／聖戦記録／萩教会	1930(S5)年	手書き資料。ノートブック。横書。昭和5年12月12日～昭和6年12月30日教会日記(教師活動手記)。付、末尾に教会員数名簿、1932年12月25日記事あり。

萩教会所蔵資料 Reel No. 3 (請求記号：122-X)

番号	表題	作成年	備考
19	昭和七年一月／第貳号／聖戦記録／日本基督教教会	1932(S7)年	手書き資料。ノートブック。横書。昭和7年1月～昭和7年12月28日教会日誌。付、昭和七年教勢報告、昭和七年教会員記録(現住者、他所在住者名メモ)、会計。
20	聖戦録／昭和八年一月／日本キリスト萩教会／No.3	1933(S8)年	手書き資料。ノートブック。横書。昭和8年1月～昭和8年12月31日教会日誌。付、出席統計表(11、12月分)、福音の使者送先、週報送先。
21	一九三五年四月(昭和十年)／教会日誌／日本基督教教会	1935(S10)年 ～1937(S12)年	手書き資料。縦片面12行罫紙規格。昭和10年4月2日～昭和12年9月25日。
22	昭和十五年九月二十二日／小会記録／萩日本基督教教会	1940(S15)年 ～1953(S28)年	手書き資料。縦片面12行罫紙規格。昭和15年9月22日～昭和28年4月12日。付、昭和28年度萩教会定期総会仮執行順序、昭和27年度庶務報告、同年教会会計報告、牧師招聘費決算。一部状態不良。
23	週報	1931(S6)年 ～1932(S7)年	謄写版。昭和6年1月4日～昭和7年12月20日(No.1～No.103)。状態不良。
24	一九三三・一一／週報綴No.1／日本基督教教会	1933(S8)年 ～1934(S9)年	謄写版。スクラップブック。昭和8年10月29日～昭和9年9月29日。付、日本基督教会山陽中会昭和7、8年度統計表、萩教会信徒人員届出書、昭和8年度会計決算報告、昭和9年度予算案、昭和9年度1月分決算報告、家庭集会区別表。一部状態不良。
25	1934.10／週報No.2／瓦町八番地／萩日本基督教教会	1934(S9)年 ～1935(S10)年	謄写版。スクラップブック。昭和9年9月30日～昭和10年4月20日。付、昭和7、8年度山陽中会統計表、昭和9年6～8月分伝道教会報告、昭和9年度萩教会統計表、財政教勢、統計、補助会計報告、教会日誌抄、出席献金統計、昭和10年1月23日付信徒数届、山陽中会教報(昭和9年9月10日)、転入通知、集会パンフレット、書信、写真。
26	昭和十年五月／週報綴／日本基督教教会	1935(S10)年	謄写版。昭和10年4月21日～昭和10年12月29日。付、山陽中会昭和10年度決算及11年度予算案、各種集会パンフレット(萩教会建設記念講演、クリスマス祝会プログラム)、書信数通、転入通知、写真、山陽中会夏期修養会報告、献金要望書。一部状態不良。

27	〔週報綴〕	1935(S10)年 ～1936(S11)年	謄写版。表紙の撮影欠。昭和10年12月～昭和11年12月。付、昭和10年度教勢報告、統計表、山陽中会統計表、山陽中会昭和10年度決算及昭和11年度予算、昭和11年上半年家計、集会統計、月報8～10月、山陽中会教報4月号、定期中会通知、書信数通、各種集会パンフレット、教会負担金に関する通知、転会状。
----	-------	---------------------------	---

萩教会所蔵資料 Reel No. 4 (請求記号：122-Y)

番号	表題	作成年	備考
28	昭和十二年度週報／日本基督〔欠〕	1936(S11)年 ～1937(S12)年	謄写版。スクラップブック。昭和11年12月20日～昭和12年12月26日。付、世乃光(萩教会内学生会 2月)、時局に対する我等の態度(山陽中会修養会)、山陽中会教報(昭和12年9月1日)、書信数通、各種集会パンフレット。
29	昭和十三年度／週報綴／日本基督萩教会	1938(S13)年 ～1939(S14)年	謄写版。スクラップブック。昭和13年1月2日～昭和14年1月7日。付、昭和12年度会計支出表、決算、教会日誌、昭和13年度予算表、統計表、会計報告(4、7、9月分)、萩教会会員名簿、クリスマス祝会案内発送簿、献金収入支出簿、書信数通、各種集会パンフレット。
30	昭和十四年度／週報綴／日本基督萩教会	1939(S14)年 ～1940(S15)年	謄写版。スクラップブック。昭和14年1月1日～昭和15年1月6日。付、昭和13年度予算並びに支出決算、礼拝、祈祷会出席者数報告、昭和14年度予算見積り、信徒人数に関する通知並びに報告、書信、集会パンフレット、昭和15年度定期総会経過メモ。
31	〔週報綴〕	1940(S15)年 ～1941(S16)年	謄写版。表紙の撮影欠。昭和15年1月7日～昭和16年7月5日。付、萩教会昭和15年度統計表、牧師就職願控1通、就職次執行順序パンフレット、書信控、送籍書1通、写真、人事相談所開設の新聞記事、信徒数届出に関する通知、宗教講演会パンフレット。
32	〔昭和16～17年 週報綴〕	1941(S16)年 ～1942(S17)年	謄写版。スクラップブック。昭和16年7月6日～昭和17年5月9日週報。昭和17年5月10日～昭和17年9月19日礼拝順序報告。付、萩教会追加統計報告控(昭和16年1月1日～昭和16年3月31日)、昭和16年度統計報告控、月会計報告(昭和17年9月)、特別集会パンフレット、信徒数届出に関する通知並びに報告書。週報の名称が変わる。
33	〔昭和17～18年 週報綴〕	1942(S17)年 ～1943(S18)年	謄写版。スクラップブック。昭和17年9月10日～昭和18年10月23日礼拝順序報告。付、クリスマス祝会、特別集会パンフレット。
34	明治三十四年六月起／会計簿／日本基督教会／萩講義所	1901(M34)年 ～1904(M37)年	手書き資料。明治34年6月9日～明治37年12月31日献金出納簿。
35	四十三年十月以後大正四年十二月迄／会計書類／萩伝道教会委員	1910(M43)年	手書き資料。和仮綴。領収証、書簡合綴。朝鮮伝道後援会趣意書(明治43年10月14日、活字資料)、明治43年度伝道局報告材料、大正元年各員献金調査表(手書き)。
36	大正九年十月以後／会計書類／萩伝道教会／石津委員	1920(T9)年 ～1922(T11)年	手書き資料。和仮綴。表紙のみ撮影。 ※調査カードによると、大正9年10月～大正11年4月。「作成者：萩伝道教会石津委員」。石津委員宛のコレテスの書簡その他多くの書簡を合綴。
37	大正十四年四月以後／萩教会会計書類／会計委員	1925(T14)年	手書き資料。和仮綴。大正14年6月10日～大正14年12月24日会計委員、コレテス書簡合綴。
38	大正拾参年／領収証綴	1924(T13)年 ～1925(T14)年	手書き資料。和仮綴。表紙と末尾勘定書のみ撮影。 ※調査カードによると、大正13年～大正14年1月の領収証類。
39	明治四三年一月新調／婦人会々計簿／至大正五年会計簿	1910(M43)年 ～1916(T5)年	手書き資料。和仮綴。明治43年1月～大正5年婦人会会計簿。付、大正2年1月より婦人会会計帳、日本基督教会婦人伝道会社規則(大正2年5月 印刷資料)、領収証。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (2)

40	十五年／財団法人関係／石津	1926(T15)年	手書き資料。「作成者：石津彦之進」。大正15年2月5日～昭和7年3月31日。付、日本基督教会維持財団年報(3回 昭和2年3月末日現在調、7回 昭和6年3月末日現在調、8回 昭和7年3月末日現在調、謄写版)。
----	---------------	------------	---

萩教会所蔵資料 Reel No. 5 (請求記号：122-Z)

番号	表題	作成年	備考
41	必要書類 登記一件	1912(T1)年	手書き資料。大正元年、大正12年～大正13年売買契約証書、分筆登記申請書副本、売渡証書、委任状。
42	〔薦書(転会状)綴〕	1941(S16)年 ～1948(S23)年	推書用紙記入。表紙なし。昭和16年～昭和23年薦書(転会状)綴。一部手書きあり。
43	書状類／萩講義所	1900(M33)年 ～1905(M38)年	状袋。奉書。詔勅(明治38年10月16日)、祝辞(耶蘇降世1900年12月25日日本基督教会萩講義所主任伝道者高井太)。
44	〔書類綴〕	1916(T5)年	手書き資料。大正5年～大正11年書類綴。薦書、教勢調査報告(大正6年6月調査)、連合軍慰問部の活動(活字資料)、信徒現在数届(手書き)。撮影は一部のみ。
45	〔書類綴〕	1926(T15)年 ～1933(S8)年	手書き資料。書類綴。表紙なし。中村転入通知書、萩町役場宛調査書(大正15年8月6日)、神の国運動関係書類(昭和16年)、送箱、薦書、洗礼者願書、信徒人員表(昭和16～8年)、山陽中会宛報告(統計表用紙、昭和3年～6年)。
46	〔書類〕	1942(昭和17)年	表紙なし。教会規則認可申請書(昭和17年3月)、宗教学法人変更登記申請書(昭和38年10月、謄写版)、昭和26年度報告(統計表用紙)。
47	大正十年一月／会堂建築関係書／委員石津彦之進	1921(T10)年 ～1925(T14)年	手書き資料。会堂建築会計簿(大正10年10月3日設備)、日本基督秋伝道教会会堂改築工事予算及仕様書工事予算、日本基督教会秋会堂新築工事算明細書、使用目的書、土地台帳建物台帳、土地登記簿、教会図面。日本基督教会維持財団関係書類(大正14年9月萩日本基督教会委員石津彦之進)。付、昭和8年1月2月4日、昭和9年11月12月決算表。

1-(2) 周陽教会所蔵資料

周陽教会所蔵資料 Reel No. 1 (請求記号：141-M)

番号	表題	作成年	備考
1	周陽教会略史	1957(S32)年	手書き資料。和仮綴。ペン書。7丁(実6丁)。1957年3月。大正15年4月より昭和8年11月教会堂建設に至るまでの略史、歴代伝道師・牧師・宣教師名、会堂建築委員、教会員名名簿。
2	〔教会歴史草稿〕	1945(S20)年	手書き資料。表紙なし。原稿400字1枚(～1945年7月)、原稿200字19枚。付、木村清弘書状(清水祐太郎より、10月17日)。状態不良。
3	昭和七年五月以降／小会記録／周陽日本基督教会	1932(S7)年 ～1942(S17)年	手書き資料。昭和7年5月～昭和17年4月。小会記録、教会統計、牧師問題等についての記録。
4	自昭和十六年一月／総会記録／日本基督教会教団周陽日本基督教会／記録／名称(教会規則実施二因り)教会会議記録ト改称	1941(S16)年	手書き資料。昭和16年2月～昭和19年7月。付、山口県通牒(昭和21年11月21日)、建築許可証書(昭和21年11月14日)。

1-(3) 宇部緑橋教会所蔵資料

宇部緑橋教会所蔵資料 Reel No. 1 (請求記号: 122-Q)

番号	表題	作成年	備考
1	〔伝道教会報告〕	1924(T13)年 ～1939(S14)年	報告、統計用紙記入。洋ケイ紙。仮綴。表紙なし。大正13年～昭和14年伝道教会報告、統計表。宇部伝道教会報告(書式あり)、昭和13年度統計表(1枚)、昭和14年度統計表(1枚)、日本基督宇部教会昭和13年度信徒現在届(2枚)、昭和12年12月31日現在信徒人員表(2枚)。
2	教会員名簿付小児洗礼	不詳	規格教会員用紙記入。洋ケイ紙。仮綴。大正13年～昭和41年転入会者300人の記録。
3	〔教会規則並認可書類一括〕	1942(S17)年	手書き・活字資料。牧師田中義助宛封筒入。認可指令書送付の件(昭和17年8月7日)、教会規則認可申請書(昭和17年2月24日 印刷縦書)、教会名称変更認可申請書(昭和17年2月24日 印刷縦書)、教会規則、承認書(昭和17年2月3日)、総代同意書、構内地の位置及坪数(図面添付)。

宇部緑橋教会所蔵資料 Reel No. 2 (請求記号: 122-R)

番号	表題	作成年	備考
4	一九三七年超/小会記録/日本基督宇部教会	1937(S12)年 ～1942(S17)年	手書き資料。昭和12年5月16日～昭和17年5月7日小会、委員会記録。表紙裏に「小会及委員会記録記載範例」添付。
5	一千九百三十八年七月/総会記録(第二)/日本基督宇部教会	1938(S13)年 ～1942(S17)年	手書き資料。昭和13年6月5日～昭和17年1月18日臨時総会、定期総会記録。昭和15年度決算表(昭和16年度予算表)、総会報告(昭和17年1月18日 謄写版)付、昭和15年度日曜学校行事記録、週報(昭和15年11月17日)。
6	自昭和十七年五月至昭和廿五年十二月/長老会記録/日本基督教団宇部緑橋教会	1942(S17)年 ～1950(S25)年	手書き資料。昭和17年5月27日5月～昭和25年12月31日定期、臨時長老会記録。
7	昭和十八年四月超/会議録/宇部緑橋教会	1943(S18)年 ～1958(S33)年	手書き資料。昭和18年4月11日(昭和18年度教会会議議録)～昭和33年3月30日(昭和32年度総会記録)。昭和33年5月2日臨時総会記録のメモあり。
8	昭和十六年一月以降(番号)/教区、支教区公文書保存綴/宇部緑橋教会	1941(S16)年 ～1954(S29)年	手書き・活字資料。和仮綴。教区、支教区公文書と教会堂建築関係書類一括。「財団加入後不動産ニ異動アル場合ノ取扱方ニ関スル件」(昭和18年1月5日日本基督教会維持財団)、「会堂建築資金貸与契約書」(昭和17年3月26日)「登記簿抄本」、「日本基督教団中国教区規約草案」「教区総会」案内、「西中国教区伝道部報告」、「中国教区西分区通信」(No.1 昭和28年6月)、「西中国教区通信」(No.1 昭和29年6月)など。

2-(1) 防府教会所蔵資料

防府教会所蔵資料 Reel No. 1 (請求記号: 141-N)

番号	表題	作成年	備考
1	日本基督教団防府教会月報	1960(S35)年 ～1961(S36)年	謄写版。教会月報2号(1960年9月11日)～10号(1961年11月19日)。牛見信夫氏の研究による防府教会の歴史(1～9号)掲載。
2	三田尻美以教会員名簿	不詳	規格教会員簿に記入。明治40年改正。会員部、退去部、結婚部、児童祝礼部の4部構成。
3	会員名簿/山口県防府市車塚/日本メソヂスト防府教会	不詳	規格教会員原簿に記入。藤村省三(大正4年6月生)筆頭、幼児会員の部、別籍会員の部、不在正会員の部で構成。
4	第壹号/記録/三田尻美以教会	1906(M39)年 ～1913(T2)年	手書き資料。教会会議記録(明治39年2月2日～大正2年3月12日)。男女関係の問題で教会裁判を行っている記録あり。明治44年3月より教会役員構成に大きな変化あり。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (2)

5	大正十五年一月起-昭和四年一月/記録3/日本メソヂスト防府教会	1926(T15)年 ~1929(S4)年	手書き資料。大正15年1月起~昭和4年2月8日。付、表紙裏に信徒人員現在表(昭和2年12月、昭和1年12月、大正14年12月末)。裏表紙、宗教法規謄写版抜粋。
6	昭和六年度/防府教会記録簿/書記森重園江	1931(S6)年 ~1932(S7)年	規格教会記録簿(大正年製)に記入。「作成者:森重園江」。昭和6年1月4日~昭和7年2月21日。付、昭和5、6年日本メソヂスト教会統計表。
7	東京大阪日曜世界社発行/昭和七年千九百三十二年/教会日誌/日本メソヂスト防府教会/杉野牧師	1932(S7)年	規格(東京大阪日曜世界社発行)教会日誌に記入。「作成者:杉野牧師」。昭和7年2月26日~同年12月25日。
8	東京大阪日曜世界社発行/昭和八年千九百三十三年/昭和十四年度7月16日以降/教会日誌/日本メソヂスト防府教会	1933(S8)年	規格(東京大阪日曜世界社発行)教会日誌に記入。昭和8年1月1日~5月3日、昭和14年7月12日~7月26日、昭和15年3月16日~9月18日教会日誌。
9	自昭和拾七年三月至/教会々議並長老会記録/山口県防府市車塚町/日本基督教団防府教会	1942(S17)年 ~1948(S23)年	手書き資料。中国五県教育会撰定国史ノート。昭和17年3月15日~昭和23年10月3日教会会議・長老会記録。ただし、昭和18年、昭和21年欠。
10	三田尻教会区四季会記録	1908(M41)年 ~1910(M43)年	手書き資料。和綴。明治41年6月24日~明治43年10月21日日本メソヂスト教会西部年会広島部三田尻教会区四季会記録。韓国伝道費に関する記録あり(明治41年6月24日)。三田尻日曜学校報告、徳山日曜学校報告、富海日曜学校報告、三田尻美以教会会計報告など。
11	〔三田尻教会区四季会記録〕	1910(M43)年 ~1914(T3)年	手書き資料。三田尻教会区四季会記録紙。和綴。表紙なし。明治43年12月28日~大正3年10月5日日本メソヂスト教会西部年会広島部三田尻教会区四季会記録。
12	大正三、四年度/防府教会四季会報告書	1914(T3)年 ~1916(T5)年	手書き資料。和綴。大正3年2月20日~大正5年2月4日防府教会四季会報告。防府、徳山教会からの報告中心。*大正3年10月防府日曜学校の報告までリール1巻。

防府教会所蔵資料 Reel No. 2 (請求記号: 141-O)

番号	表題	作成年	備考
12	大正三、四年度/防府教会四季会報告書	1914(T3)年 ~1916(T5)年	手書き資料。和綴。大正3年2月20日~大正5年2月4日西部年会山陽部防府教会四季会報告。 *大正3年10月防府講義所牧師伊地知九郎報告からリール2巻。
13	大正三年拾二月 六年拾二月/防府教会四季会記録/3	1914(T3)年 ~1917(T6)	手書き資料。大正3年10月~大正6年12月防府教会四季会記録。大正5年四季会記録から書式に書込み。
14	〔防府教会四季会記録〕	1918(T7)年 ~1924(T13)年	書式あり。仮綴。表紙なし。大正7年~大正13年防府教会四季会記録。一部手書き。
15	大正拾年九月 拾五年八月(幹事四季会報告)	1921(T10)年 ~1927(S2)年	書式あり。仮綴。大正10年12月~昭和2年12月幹事四季会報告。
16	大正拾三年四月 昭和四年二月/防府、宇部教会四季会記録	1924(T13)年 ~1929(S4)年	書式あり。仮綴。大正13年4月~昭和4年2月。
17	〔防府教会四季会記録〕	1929(S4)年	書式あり。手書き資料。表紙なし。昭和4年。
18	〔防府教会四季会記録〕	1930(S5)年 ~1931(S6)年	書式あり。仮綴。表紙撮影なし。昭和5年5月15日~昭和6年10月9日。
19	〔四季会記録〕	1932(S7)年 ~1941(S16)年	書式あり。仮綴。表紙なし。昭和7年2月14日~昭和16年10月1日。 *昭和14年1月27日報告でリール2終

防府教会所蔵資料 Reel No. 3 (請求記号: 141-P)

番号	表題	作成年	備考
19	〔四季会記録〕	1932(S7)年 ～1941(S16)年	書式あり。仮綴。表紙なし。昭和7年2月14日～昭和16年10月1日。
20	教会日誌(自昭和九年至昭和十二年未)	1934(S9)年 ～1937(S12)年	謄写版。仮綴。内容は表題と異なり、日本メソヂスト防府教会週報綴。昭和9年12月23日～昭和11年8月(通号数なし)、昭和11年9月6日(No.201)～昭和12年12月26日(No.262)。
21	〔週報〕	1938(S13)年 ～1939(S14)年	謄写版。昭和13年1月9日(防府基督教会 No.263)～8月21日(防府基督教会 No.292号)、昭和13年9月11日～昭和14年9月13日(日本メソヂスト防府教会週報 昭和13年は通号数なし、14年1月より通号数あり、34号まで)。
22	統計	1936(S11)年 ～1967(S42)年	報告書式あり。活字資料。仮綴。昭和11年～昭和42年度山口県防府市車塚日本メソヂスト防府教会、日本基督教団防府教会統計報告。昭和11年～昭和15年教団統計長票、昭和17年～22年度日本基督教団統計報告表(収支決算報告)、1948～1967年度年度報告表。ただし、1966年度欠。
23	教会記録	～1947(S22)年	手書き・活字資料。仮綴。教会統計(昭和16年1月～12月)、山根照子志願書(大正6年)、防府町役場通牒(大正8年)、桂マツノ転会状(葉書)、谷村トミ受洗願書(大正6年)、クリスマス献金控(年次不詳)、秋田祥穂転会状(大正5年)、木村サヒ転会状(大正4年)、砂本貞吉書状、牧師一覧(明治37年～昭和19年)、役員一覧(昭和11年～昭和8年)、昭和14年2月教会会議、不動産覚書、昭和22年3月会計。

2-(2) 徳山教会所蔵資料

徳山教会所蔵資料 Reel No. 1 (請求記号: 141-J)

番号	表題	作成年	備考
1	日本メソヂスト徳山教会／教会々員名簿	1938(S13)年	規格会員簿ノートに記入。243名の名簿。筆頭岡田繁太郎(安政6年生、明治37年10月7日入会)。
2	教会々員名簿	1917(T6)年	規格会員簿ノートに記入。筆頭山本直亮(元治1年2月1日生 明治37年10月入会)。大正6年7月まで。付、大正6年1月31日調べ日本メソヂスト徳山教会会員名簿一葉。
3	転入会状綴	1915(T4)年 ～1934(S9)年	手書き資料。和仮綴。大正4年5月～昭和9年8月。薦書井上勝馬(大正4年5月2日)など。一部の薦書、証明書書式あり。
4	〔信徒員数届〕	1929(S4)年 ～1942(S17)年	手書き資料。和綴。表紙なし。昭和4年～昭和17年。ただし、昭和8、10、12、16年欠。
5	〔教会日誌〕	1914(T3)年 ～1916(T5)年	手書き資料。小型ノート。表紙なし。大正3年3月15日～大正5年12月25日教会集会記録。ただし、大正4年3月1日～大正5年2月12日欠。付、大正3年会費収納一覧表、日曜日献金収納一覧表。
6	教会集会日誌／大正四年四月より／山内鶴子	1915(T4)年 ～1917(T6)年	手書き資料。ノートブック。大正4年4月11日～大正6年1月7日。
7	教会日誌／大正九年八月	1920(T9)年 ～1921(T10)年	手書き資料。ノートブック。大正9年8月18日～大正10年9月11日。
8	教会日誌／大正拾年大正拾壹年／徳山メソヂスト教会	1921(T10)年 ～1923(T12)年	手書き資料。ノートブック。大正10年9月22日～大正12年3月25日。
9	東京大阪日曜世界社発行／昭和二年／千九百二十七年／教会日誌	1927(S2)年	規格(東京大阪日曜世界社発行)教会日誌に記入。昭和2年1月2日～同年12月31日。



CS 教会研究の歴史と資料の現状 (2)

10	東京大阪日曜世界社発行／昭和三年／千九百二十八年／教会日誌／徳山教会	1928(S3)年	規格(東京大阪日曜世界社発行)教会日誌に記入。昭和3年1月2日～同年12月30日。
11	教会日誌	1924(T13)年～1931(S6)年	手書き資料。大正13年4月20日～同年10月5日(米倉次吉牧師)、大正14年3月1日～同年12月31日、大正15年1月3日～同年4月4日(眞丈丈夫牧師)、昭和4年4月7日～同年12月29日、昭和5年1月5日～同年1月20日、昭和6年4月8日～同年4月19日(藤田茂牧師)。
12	東京大阪日曜世界社発行／大正 年／千九百三十二年／教会日誌	1932(S7)年	規格(東京大阪日曜世界社発行)教会日誌に記入。昭和7年4月3日～同年11月20日。ただし、7月10日～8月28日欠。
13	基督教出版社発行／昭和九年／教会日誌／徳山教会	1934(S9)年	規格(基督教出版社発行)教会日誌に記入。昭和9年1月7日～同年12月30日。毎月集会は8月第1週まで記入。
14	基督教出版社発行／昭和十年 千九百三十五年／教会日誌／徳山教会	1935(S10)年	規格(基督教出版社発行)教会日誌に記入。昭和10年1月5日～同年12月29日。
15	基督教出版社発行／昭和十一年／教会日誌／徳山教会	1936(S11)年	規格(基督教出版社発行)教会日誌に記入。昭和11年1月5日～同年12月27日。付、昭和11年度予算表、クリスマス会計報告。
16	基督教出版社発行／昭和十二年／教会日誌／徳山教会	1937(S12)年	規格(基督教出版社発行)教会日誌に記入。昭和12年1月3日～同年12月26日。

徳山教会所蔵資料 Reel No. 2 (請求記号: 141-K)

番号	表題	作成年	備考
16	基督教出版社発行／昭和十二年／教会日誌／徳山教会	1937(S12)年	規格(基督教出版社発行)教会日誌に記入。昭和12年1月3日～同年12月26日。
17	基督教出版社発行／昭和十三年／教会日誌／徳山教会	1938(S13)年	規格(基督教出版社発行)教会日誌に記入。昭和13年1月2日～同年12月25日。
18	基督教出版社発行／昭和十四年 千九百三十九年／教会日誌／日本メソヂスト徳山教会	1939(S14)年	規格(基督教出版社発行)教会日誌に記入。昭和14年1月1日～同年12月31日。虫喰破損
19	基督教出版社発行／昭和十五年 千九百四十年／教会日誌／日本メソヂスト徳山教会	1940(S15)年	規格(基督教出版社発行)教会日誌に記入。昭和15年1月1日～同年12月29日。
20	基督教出版社発行／昭和十六年／教会日誌／日本メソヂスト徳山教会	1941(S16)年	規格(基督教出版社発行)教会日誌に記入。昭和16年1月1日～同年12月28日。5月18日中島久憲兵隊出頭の件あり。
21	基督教出版社発行／昭和十七年 千九百四十二年／教会日誌／日本基督教団徳山教会	1942(S17)年	規格(基督教出版社発行)教会日誌に記入。昭和17年1月4日～同年12月27日。虫喰大破損。
22	基督教出版社発行／昭和十八年 千九百四十三年／教会日誌／徳山教会	1943(S18)年	規格(基督教出版社発行)教会日誌に記入。昭和18年1月3日～同年12月26日。11月29日創立50周年記念礼拝記録あり。虫喰大破損。
23	大正十一年同十二年／週報／徳山教会	1922(T11)年～1923(T12)年	謄写版。仮綴。大正11年5月14日～大正12年12月30日。大正11年(No.3～No.29、ただし4～8、13～16、23～28号欠)、大正12年(No.1～No.49、ただし4～7、10、15、35、39、46号欠)。
24	自大正十三年一月至同十二月／週報／日本メソヂスト徳山教会	1924(T13)年	謄写版。仮綴。大正13年1月6日～同年12月21日(No.1～No.52全)。付、山陽部報告(釘宮辰生、謄写版)。
25	昭和六年度週報	1931(S6)年	謄写版。仮綴。昭和16年1月4日～同年12月27日(No.1～No.52、ただし6、7、9、11、13、14、32号欠)。

26	昭和七年度週報	1932(S7)年	謄写版。仮綴。昭和7年1月3日～同年12月25日。ただし、7月2週欠。通号数記号なし。
27	昭和八年度週報	1933(S8)年	謄写版。仮綴。昭和8年1月1日～同年12月31日(全)。通号数記号なし。
28	昭和九年度週報	1934(S9)年	謄写版。仮綴。昭和9年1月7日～同年12月30日(全)。付、献堂式関係謄写版挿入(随時)。
29	昭和十年度週報	1935(S10)年	謄写版。仮綴。昭和10年1月13日～同年12月29日(全)。付、婦人会消費組合関係謄写版、献金芳名録等。

徳山教会所蔵資料 Reel No. 3 (請求記号：141-L)

番号	表題	作成年	備考
30	昭和十一年度週報	1936(S11)年	謄写版。仮綴。昭和11年1月5日～同年12月27日(全)。付、クリスマス関係謄写版(プログラム、会計報告)。
31	昭和十二年度週報	1937(S12)年	謄写版。仮綴。昭和12年1月3日～同年12月26日(7月18日、8月7日欠)。付、クリスマス関係謄写版(プログラム、会計報告)。
32	昭和十三年度週報	1938(S13)年	謄写版。仮綴。昭和13年1月2日～同年12月25日(全)。付、クリスマス関係謄写版(プログラム)。
33	昭和十四年度週報/原田用	1939(S14)年	謄写版。仮綴。昭和14年1月1日～同年12月31日(全)。
34	昭和十五年度週報/原田用	1940(S15)年	謄写版。仮綴。昭和15年1月7日～同年12月29日(全)。
35	昭和十六年度週報/教会用	1941(S16)年	謄写版。仮綴。昭和16年1月5日～同年12月28日(全)。
36	昭和十七年度週報	1942(S17)年	謄写版。仮綴。昭和17年1月4日～同年12月27日(全)。
37	[昭和十八年度週報]	1943(S18)年	謄写版。仮綴。表紙なし。昭和18年1月3日～同年12月26日(全)。昭和18-昭和22週報一括綴の一部。
38	[昭和十九年度週報]	1944(S19)年	謄写版。仮綴。表紙なし。昭和19年1月2日～同年12月31日(全)。昭和18-昭和22週報一括綴の一部、昭和17年の週報の裏を使用。
39	[昭和十九年度週報(周陽教会)]	1944(S19)年	謄写版。仮綴。表紙なし。昭和19年6月4日～同年12月31日(全)。昭和18-昭和22週報一括綴の一部、昭和16、17年の週報の裏を使用。
40	[昭和二十年度週報]	1945(S20)年	謄写版。仮綴。表紙なし。昭和20年1月7日～同年12月30日。昭和18-昭和22週報一括綴の一部、昭和17年の週報の裏を使用。
41	[昭和二十年度週報(周陽教会)]	1945(S20)年	謄写版。仮綴。表紙なし。昭和20年1月7日～同年7月1日。昭和18-昭和22週報一括綴の一部、昭和16、17年の週報の裏を使用。
42	[昭和二十一年度週報]	1946(S21)年	謄写版。仮綴。表紙なし。昭和21年1月6日～同年12月29日。昭和18-昭和22週報一括綴の一部、昭和16年の週報の裏を使用。
43	[昭和二十二年度週報]	1947(S22)年	謄写版。仮綴。表紙なし。昭和22年1月5日～同年12月28日。昭和18-昭和22週報一括綴の一部、昭和17年の週報の裏を使用。
44	[四季会記録]	1918(T7)年	書式あり。仮綴。表紙なし。西部年会山陽部徳山教会四季会、大正7年6月13日。
45	[四季会記録]	1919(T8)年 ～1920(T9)年	書式あり。仮綴。表紙なし。西部年会山陽部徳山教会四季会、大正8年2月5日、大正8年6月13日、大正8年10月6日、大正9年2月25日、大正9年5月21日。付、子供の日取支決算(大正7年6月)。一部の報告手書き資料。
46	[四季会記録]	1920(T9)年 ～1921(T10)年	書式あり。仮綴。表紙なし。西部年会山陽部徳山教会四季会。大正9年2月25日～大正10年11月4日。大正9年2月25日、大正9年5月21日、大正9年10月20日、大正10年2月14日、大正10年5月5日、大正10年11月4日。
47	[四季会記録]	1921(T10)年 ～1923(T12)年	書式あり。仮綴。表紙なし。西部年会山陽部徳山教会四季会。前欠。大正10年11月6日～大正12年1月26日。大正11年1月30日、大正11年5月8日、大正11年10月7日、大正12年1月26日。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (2)

48	大正十二年度／四季会記録／日本メソヂスト徳山教区	1923(T12)年 ～1924(T13)年	書式あり。仮綴。大正12年4月29日～大正12年12月31日。大正12年4月29日、大正12年9月16日、大正13年1月30日。付、大正12年経費予算、四季会費名簿、山陽部各教会大正13年度割賦金表原案。
49	〔四季会記録〕	1924(T13)年	書式あり。仮綴。表紙なし。大正13年4月5日～大正13年9月。大正13年4月5日、大正13年6月、大正13年8月13日、大正13年10月26日。付、四季会会員名簿、大正13年度予算。
50	徳山教区／四季会記録／大正拾四年度	1924(T13)年 ～1926(T15)年	書式あり。仮綴。大正13年10月～大正14年12月。大正14年度負担金割賦表、大正14年度予算案。大正14年3月6日、大正14年4月21日、大正14年7月、大正14年8月11日、大正14年11月10日、大正15年1月29日。
51	〔四季会記録〕	1926(T15)年 ～1927(S2)年	書式あり。仮綴。表紙なし。大正15年10月～昭和2年8月。大正15年10月、昭和2年2月26日、昭和2年8月4日。
52	徳山教区／四季会記録	1927(S2)年 ～1931(S6)年	書式あり。仮綴。昭和2年10月～昭和6年9月。昭和3年1月18日、昭和3年5月18日、昭和3年7月18日、昭和4年2月9日、昭和4年5月23日、昭和4年9月15日、昭和4年11月9日、昭和5年1月30日、昭和5年5月14日、昭和5年7月28日、昭和5年11月18日、昭和6年1月、昭和6年3月6日、昭和6年7月26日、昭和6年10月9日。

2- (3) 下関丸山教会所蔵資料

下関丸山教会所蔵資料 Reel No. 1 (請求記号：122-O)

番号	表題	作成年	備考
1	明治三十七年十一月十九日起／沿革誌 一／下関美似教会講義所	1904(M37)年 ～1906(M39)年	手書き資料。和綴。「作成者：柳原直人牧師」。明治37年11月19日開設、それまでの下関美似教会講義所沿革誌あり。明治37年11月20日～明治39年11月4日教会日誌。付、下関在住信者名簿、求道者リスト。
2	明治四拾貳年五月起之／記録／日本メソヂスト下関教会幹事局	1909(M42)年 ～1911(M44)年	手書き資料。和仮綴。明治42年5月10日～明治44年2月25日。幹事会など。
3	明治四拾参年拾月／記録／下関メソヂスト教会	1910(M43)年 ～1911(M44)年	手書き資料。和仮綴。明治43年10月16日～明治44年3月26日。伝道会記録など。
4	明治四拾四年一月／記事録／ウエスレー共励会	1911(M44)年 ～1922(T11)年	手書き資料。和仮綴。明治44年1月9日(下関美似教会ウエスレー共励会設立)～大正11年2月12日例会記録。付、会員名簿。
5	明治三十八年／公文書綴(一)／日本メソヂスト下関教会	1905(M38)年 ～1954(S29)年	手書き資料。和仮綴。明治38年～昭和29年下関市役所との往復文書、山口県知事宛の信徒数届。「日本メソヂスト下関教会略史」(昭和11年9月18日)、登記記録あり。ただし、「設立の義に付」、「表彰」、「任命通知」、「宣教＝開スル事項変更届」、「教会調査要領」、「日本基督教団教会規則」などは活字綴書。一部資料状態不良。
6	大正十四年四月以降／公文書類綴(二)／日本メソヂスト下関教会	1925(T14)年 ～1929(S4)年	手書き資料。和仮綴。大正14年4月～昭和14年下関市役所との往復文書。ただし「俸給給料其ノ他支払調査提出方ノ件」な活字綴書。綴り前後混乱。
7	教会員名簿(一)／日本メソヂスト下関教会	1912(M45)年 ～1918(T7)年	手書き資料。和洋綴。明治45年3月調査会員記録(原籍、受洗、入会、現住所)、大正7年12月15日調査会員記録(原籍、現住所、職業、受洗、入会、移転など)。
8	教会名簿(二)	1919(T8)年	教会員名簿書式に記録。日本メソヂスト下関教会紙。335名の会員記録。大正8年3月31日名簿改正。
9	自昭和七年四月／会員移動簿／下関教会／牧師手許	1932(S7)年 ～1940(S15)年	手書き資料。洋。昭和7年4月～昭和15年8月会員記録。昭和7年4月30日現在、昭和7年4月以後移動、昭和7年12月31日現在、昭和8年1月よりの異動など。

下関丸山教会所蔵資料 Reel No. 2 (請求記号: 122-P)

番号	表題	作成年	備考
10	受洗児童名簿／附準会員／日本メソヂスト下関教会	1933(S8)年	手書き資料。和洋綴。前欠。～昭和8年6月18日。日本メソヂスト下関教会。
11	日本メソヂスト広島部山口区四季会記録(一)	1907(M40)年～1908(M41)年	手書き資料。和仮綴。明治40年6月22日～明治41年3月9日四季会議員姓名簿、例会記録。
12	明治四十一、二、三、四年度／大正元年度／日本メソヂスト下関教会四季会記録(二)	1908(M41)年～1913(T2)年	手書き資料。和仮綴。明治41年6月29日～大正2年1月20日四季会記録。大正元年度は四季会報告書式あり。
13	日本メソヂスト下関教会四季会記録(三)	1913(T2)年～1917(T6)年	書式あり。和仮綴。大正2年6月12日～大正6年2月27日。
14	昭和三年度以降／四季会記録／日本メソヂスト下関教会	1928(S3)年～1932(S7)年	書式あり。和仮綴。昭和3年5月16日～昭和7年10月9日。
15	大正年度／四季会記録(五)／日本メソヂスト下関教会	1921(T10)年～1928(S3)年	書式あり。洋紙、仮綴。大正10年2月13日～昭和3年1月21日。
16	釘宮辰生氏送別及見舞金名簿	1912(T1)年	手書き資料。和仮綴。趣意書、見舞金名簿。
17	第二十回西部年会記録特別附録西部年会任命一覧表	1927(S2)年	洋大印。明治41年～昭和2年。
18	昭和三年度山陽部各教会負担金割賦表	1928(S3)年	洋小印。1枚
19	〔昭和十年日本メソヂスト教会山陽部下関教会統計〕	1935(S10)年	統計用紙記入。「1.昭和十年日本メソヂスト教会山陽部統計(第一号)」(1枚)、「2.昭和十年日本メソヂスト教会部統計(第二号)」(1枚)、「3.昭和十年日本メソヂスト教会山陽部統計(第三号)」(1枚)。1, 2, 3用紙記入、1, 2封筒あり。
20	デュビリー祝賀会について	不詳	パンフレット。4頁
21	〔教会建築関係書類一括〕	1926(T15)年	手書き資料。新築項目書、会堂兼牧師館建築見積書、下関メソヂスト教会牧師館新築工事仕様書、教会附近地図、移転願、牧師館兼仮会堂新築事後承認願、木子政之助書簡附見積書。

2-(4) 柳井教会所蔵資料

柳井教会所蔵資料 Reel No. 1 (請求記号: 141-Q)

番号	表題	作成年	備考
1	日本基督教団柳井教会教会史／一九三一年四月(昭和六年)より／一九六〇年三月(昭和三十五年)まで	1960(S35)年	手書き資料。原稿紙。昭和16年3月18日～昭和35年3月29日。
2	(久保光治寄稿)／日本基督教団柳井教会／教会略史編纂資料	1961(S36)年	手書き資料。原稿紙。「作成者:久保光治」。序文は昭和36年12月17日。
3	東京大阪日曜世界社発行／大正拾四年千九百二十五年／教会日誌／日本メソヂスト柳井教会	1925(T14)年	規格(東京大阪日曜世界社発行)教会日誌に記入。大正14年1月4日～同年10月25日。
4	東京大阪日曜世界社発行／昭和貳年千九百二十七年／教会日誌	1927(S2)年～1928(S3)年	規格(東京大阪日曜世界社発行)教会日誌に記入。昭和2年1月2日～昭和3年1月8日。
5	東京大阪日曜世界社発行／昭和参年千九百二十八年／教会日誌／日本メソヂスト柳井教会	1928(S3)年	規格(東京大阪日曜世界社発行)教会日誌に記入。昭和3年1月1日～同年12月31日。

CS 教会研究の歴史と資料の現状 (2)

6	基督教出版社発行／昭和十三年千九百三十八年／教会日誌／玖珂郡柳井町大字柳井二八一四番屋敷ノ三／日本メソヂスト柳井教会	1938(S13)年	規格(基督教出版社発行)教会日誌に記入。昭和13年1月2日～同年12月25日。付、昭和13年(ウエスレー回心満二百年記念、謄写版)、更新運動新年初週祈禱会週報(日本メソヂスト柳井教会 No.1～No.52、1月2日～12月31日。12号欠、謄写版)。
7	基督教出版社発行／昭和十五年千九百四十年／教会日誌／柳井教会	1940(S15)年	規格(基督教出版社発行)教会日誌に記入。昭和15年1月23日～同年11月27日。付、昭和24年日曜学校部事業計画案、役員会記録記載例、週報66号(4月16日)、集案案内、食品衛生法第21条による営業許可申請書(昭和25年3月16日)。
8	基督教出版社発行／昭和十七年／教会日誌／教会	1942(S17)年	規格(基督教出版社発行)教会日誌に記入。昭和17年1月4日～同年7月12日(年記表題なし、ただし昭和17年より)。付、週報(No.1～No.52、1月4日～12月27日。ただし17、26、30、35、50号欠)、教団依頼調査(報告会に関する件 昭和17年11月19日)、日本基督教団教団統理者富田満令達第3号(昭和17年12月8日)、日本基督教団総務局長鈴木浩二総発第96号「国民儀礼実施ノ件」(昭和17年12月10日)、降誕祭献金依頼(昭和17年12月15日)、表彰状、山本静子転会薦書。

柳井教会所蔵資料 Reel No. 2 (請求記号：141-R)

番号	表題	作成年	備考
9	基督教出版社発行／昭和十八年 千九百四十三年／教会日誌／日本基督教団柳井教会	1943(S18)年	規格(基督教出版社発行)教会日誌に記入。昭和18年1月31日～同年11月21日。付、週報(No.1～No.51、1月3日～12月19日。ただし6、11、17、22、32、34～35、43～44、48号欠)、日本基督教団戦時布教指針(謄写版)、基督降誕祭案内及彰状(12月23日)。
10	基督教出版社発行／昭和十九年 千九百四十四年／教会日誌／柳井教会	1944(S19)年	規格(基督教出版社発行)教会日誌に記入。昭和19年1月2日～同年12月28日。付、週報(No.1～No.52、1月2日～12月24日。ただし20、28、33、35、37、39～40、42～44、46、48、50～51号欠)、山口支教区戦時活動強化指導者協議会申合事項。
11	基督教出版社発行／昭和二十年 千九百四十五年／教会日誌／柳井教会	1945(S20)年	規格(基督教出版社発行)教会日誌に記入。昭和20年4月29日～同年5月27日。付、週報(No.1～No.19、1月3日～5月13日。2、4、6～9、11～18号欠、謄写版)、山口支教区通信 No.1(昭和20年3月19日謄写版)。
12	明治四十四年四月／教会々議記録／日本メソヂスト教会柳井講義所	1931(S5)年 ～1939(S14)年	手書き資料。仮綴。昭和5年2月6日～昭和14年1月22日教会会議録。教会備品目録(昭和4年6月調)、婦人会専用備品目録。撮影は一部か
13	昭和十三年／第一四季会記録／自十三年一月至十三年三月	1938(S13)年	書式あり。仮綴。昭和13年5月13日、同年11月7日、昭和14年1月27日。
14	昭和十四年度／第一四季会記録／自十四年一月至十四年六月	1939(S14)年 ～1940(S15)年	書式あり。仮綴。昭和14年11月14日、昭和15年2月13日。
15	〔四季会記録〕	1940(S15)年	書式あり。仮綴。表紙なし。昭和15年4月29日、昭和15年12月1日、昭和16年1月31日。
16	〔柳井教会役員会記録〕	1941(S16)年 ～1943(S18)年	書式あり。仮綴。バラ。昭和16年6月記録、昭和16年11月26日記録、昭和17年3月18日記録、昭和16年度予算書、昭和17年7月10日記録、昭和18年4月幼稚園長報告、昭和18年8月記録。
17	〔柳井教会出席者数並報告記録〕	1924(T13)年 ～1925(T14)年	手書き資料。ノート。表紙なし。大正13年4月1日～大正14年1月18日。
18	〔柳井教会役員会記録〕	1945(S20)年	書式あり。仮綴。昭和20年3月6日。
19	大正拾一年六月／共励会記録／柳井青年共励会	1922(T11)年 ～1929(S4)年	手書き資料。大正11年6月8日～昭和4年4月6日。

20	昭和六年より／組会記録／日本メソヂスト柳井教会／東組組長	1931(S6)年 ～1940(S15)年	手書き資料。ノート。昭和16年6月10日～昭和15年1月22日。
21	〔柳井メソヂスト教会統計〕	1929(S4)年 ～1940(S15)年	日本メソヂスト教会統計表用紙に記入。統計帳票仮綴。
22	〔昭和十六年度統計〕	1941(S16)年 ～1943(S18)年	謄写版。昭和16年4月～昭和18年3月会計報告。日本基督教団柳井教会昭和16年度統計報告(日本基督教団歳入及歳出決算書用紙)。
23	十八年四月以降統計会計類	1942(S17)年 ～1959(S34)年	仮綴。会計報告(昭和18年4月～同年12月、謄写版)、柳井教会統計報告表(昭和17～34年度、日本基督教団統計報告用紙、収支決算報告用紙)。
24	〔紀元二千六百年旧西部年会記念伝道報告〕	1941(S16)年	謄写版。仮綴。表紙なし。付、監督告示(阿部義宗、パンフレット)。
25	〔中国四国教会年会記録〕	1941(S16)年	活字資料。仮綴。表紙なし。昭和16年中国四国教会年会記録。阿部義宗「地方年会に際して」、山県国義「教区長報告」など。一部は謄写版。
26	〔昭和16年通知綴〕	1941(S16)年	謄写版。仮綴。表紙なし。教区通信、「宗教団体法実施二件フ諸手続ノ件」など。
27	〔山口県支教区通信綴〕	1941(S16)年 ～1942(S17)年	謄写版。仮綴。表紙なし。「日本基督教団山口県支教区内教会結社一覧表」(昭和17年7月現在)、教区通知など。

柳井教会所蔵資料 Reel No. 3 (請求記号：141-S)

番号	表題	作成年	備考
28	日本基督教団第二部中国地方／日曜学校・青年会指導者錬成会報告／於広島女学院牛田山修錬道場	1942(S17)年	謄写版。昭和17年9月5日刊行。山県国義「牛田山錬成会所感」など。
29	〔旧中国地方年会協議会資料〕	1943(S18)年	謄写版。仮綴。表紙なし。昭和18年3月31日～同年4月1日山口信愛教会にて会議。「昭和十七年度中国地方秋季特別伝道集会一覧表」、会計報告、「日本基督教団旧第二部第二回中国地方年会連絡協議会記録抄」など。
30	〔中国教区教師修錬会記録〕	1943(S18)年	謄写版。仮綴。表紙なし。1943年4月。「日本基督教団中国教区昭和十八年度歳入歳出予算案」、教区通信、教区規約(昭和18年3月15日改正)など。
31	〔中国四国教区年会記録〕	1942(S17)年	謄写版。仮綴。山県国義「中四教区長報告(昭和17年3月24日松山二番町教会で開かれた中四合同年会への報告)」、日本基督教団第二部内規、中国地方通信など。
32	〔昭和十八年度山口支教区通牒〕	1942(S17)年 ～1943(S18)年	謄写版。仮綴。表紙なし。昭和17年4月～昭和18年7月。山口支教区会書記報告(三村千秋)、教区通信、会計報告など。
33	〔日本基督教団通牒、回章、雑綴〕	1944(S19)年 ～1947(S22)年	謄写版。仮綴。表紙なし。昭和19年8月～昭和22年3月。
34	〔山口支教区通信〕	1944(S19)年 ～1945(S20)年	謄写版。仮綴。表紙なし。昭和19年7月～昭和20年2月。
35	教会堂建築費献金芳名録	1925(T14)年 ～1927(S2)年	規格寄附申込書用紙に記入。仮綴。
36	昭和六年六月／牧師館建築資金寄附帳／日本メソヂスト柳井教会	1931(S6)年	御寄附者芳名録に記入。
37	教会要書綴／但自昭和元年四月より至昭和四年十二月迄	1925(T14)年	仮綴。大正14～15年統計票(メソヂスト教会統計表用紙)、教勢報告(手書き)、昭和元年信徒・人員届、昭和2年四季会記録、信仰試問題(解答)、山陽教報6号(大正14年1月30日、印刷物)。

38	監督釘宮辰生書状	1938(S13)年	封書。日本メソヂスト教会事務所紙。昭和13年12月7日柳井教会牧師伊藤賢人宛。自給教会としての発足を奨める。
----	----------	------------	--

## II 旧日本基督教会の中会・大会資料

### 1 東京中会記録

東京中会記録 Reel No.1 (請求記号:122-S)

番号	表題	作成年	備考
1	一千八百七十八年即明治十一年秋期ヨリ一千八百八十三年即明治十六年秋期ニ至ル日本一致基督教会中会記録	1878(M11)年 ～1883(M16)年	手書き資料。明治11年10月～明治16年10月。日本基督一致教会中会記録、日本基督一致教会東部中会記録。
2	日本基督一致教会第一第二東京中会聯合伝道委員会記録／第一号十八年十二月三日ヨリ十九年十月廿三日ニ至ル	1885(M18)年 ～1886(M19)年	手書き資料。明治18年12月3日～明治19年10月23日。伝道委員定期会、臨時会記録。
3	日本基督一致教会第一第二東京中会聯合伝道委員会記録二／書記	1886(M19)年 ～1889(M22)年	手書き資料。明治19年11月27日～明治22年3月23日伝道委員会記録。
4	日本基督教会第二東京中会記録明治廿一年明治廿七年四月／ただし廿一年四月分廿六年四月分を欠く／乙ノ三 明治卅二年十一月整理す／書記	1887(M20)年 ～1894(M27)年	手書き資料。明治20年1月31日(東京第一第二中会諸教師牧師相談会)～明治27年4月(第二東京中会記録摘要)。付、明治27年3月臨時中会記録。
5	明治十四年四月ヨリ同廿年十一月ニ至ル／北部中会記録／書記	1881(M14)年 ～1887(M20)年	手書き資料。明治14年4月～明治20年11月。教会の建会、会堂、牧師、長老、書記名と住所記録、「役者(氏名、生年)」[北部中会域内ノ教会並教師]「中会記録」[北部臨時中会記録]「十六年三月臨時中会記録」[日本基督一致北部中会記録]「日本基督一致北部臨時中会記録」など。
6	第一東京中会記録／自明治廿二年十一月至同廿五年十一月／甲ノ第三	1889(M22)年 ～1892(M25)年	手書き資料。明治22年11月～明治25年11月。定期中会、臨時中会記録。第一東京中会伝道委員会報告。
7	第一東京中会記録／自明治廿五年十二月至同廿七年七月／甲ノ第四	1892(M25)年 ～1894(M27)年	手書き資料。明治25年12月～明治27年7月。定期中会、臨時中会記録。「[日本の花嫁]は同胞を譏誣したる者に非ず」(田村直臣)、「被告ノ反証ニ対スル弁駁ノ大意」(明治27年6月第一東京中会告訴委員長井深梶之助)、「田村直臣氏著書日本の花嫁に対する論弁」(明治26年10月第一東京中会告訴委員熊野確七)、「日本基督教会第一東京中会伝道委員会報告」。
8	第一東京中会記録／自明治廿七年八月至同廿九年一月	1894(M27)年 ～1896(M29)年	手書き資料。明治27年8月～明治29年1月。定期中会、臨時中会記録。日本基督教会第一東京中会伝道局報告。
9	第一東京中会記録／自明治廿九年十月至同卅一年十月／甲ノ第六冊	1896(M29)年 ～1898(M31)年	手書き資料。明治29年10月～明治31年10月。定期中会、臨時中会記録。
10	明治廿七年八月以降第二東京中会記録／乙ノ第四冊	1894(M27)年 ～1898(M31)年	手書き資料。明治27年8月～明治31年7月。。定期中会、臨時中会記録。「明治卅二年十一月十日整理す永井直治」メモ書きあり。
11	第二中会伝道局委員会記録	1891(M24)年 ～1895(M28)年	手書き資料。明治24年12月1日～明治28年3月25日。

## 東京中会記録 Reel No. 2 (請求記号: 122-T)

番号	表題	作成年	備考
12	自明治三十一年十月至明治三十三年六月／東京中会記録壹	1898(M31)年 ～1900(M33)年	手書き資料。「第一、第二東京両中会合併式執行の爲の中会」、定期中会、臨時中会記録。
13	自明治参拾参年十月至〔明治三十五年二月〕／東京中会記録二	1900(M33)年 ～1902(M35)年	手書き資料。定期中会、臨時中会記録。
14	従明治参拾五年四月至明治参十七年九月／東京中会記録三	1902(M35)年 ～1904(M37)年	手書き資料。定期中会、臨時中会記録(「神田教会牧師解職に関する総会の決議に対する上告並に同教会牧師解職訴願之件」明治36年12月16日～島貫兵太夫関連)。
15	従明治参拾七年十月／東京中会記録四	1904(M37)年 ～1909(M42)年	手書き資料。明治37年10月～明治42年4月日本基督教会東京中会記録。
16	自明治四十二年十月至大正二年四月／東京中会記録五	1909(M42)年 ～1913(T2)年	手書き資料。東京中会記録。
17	自大正二年十月至大正八年一月／東京中会記録六	1913(T2)年 ～1919(T8)年	手書き資料。定期中会、臨時中会記録。
18	自大正八年四月至大正十一年七月／東京中会記録七	1919(T8)年 ～1922(T11)年	手書き資料。表紙に「全部大会調査済」メモ書きあり。第33～36回定期中会、臨時中会記録。
19	自大正十一年十月／東京中会記録八	1922(T11)年 ～1923(T12)年	手書き資料。大正11年10月～大正12年11月、第37回。定期中会、臨時中会記録。
20	自一九二四年四月至一九二五年一月／東京中会記録九	1924(T13)年 ～1925(T14)年	手書き資料。第38回定期中会、臨時中会記録。
21	自一九二五年四月／東京中会記録十	1925(T14)年	手書き資料。第39回定期中会、臨時中会記録(同年9月14日)。

## 東京中会記録 Reel No. 3 (請求記号: 122-U)

番号	表題	作成年	備考
22	自千九百二十六年四月(一九二七年八月迄)／東京中会記録十一／東京中会	1926(T15)年 ～1927(S2)年	手書き資料。大正15年4月～昭和2年8月。第40～41回定期中会、臨時中会記録。
23	東京中会記録十二／千九百二十七年八月以降	1927(S2)年 ～1929(S4)年	手書き資料と印刷資料。昭和2年8月～昭和4年10月。第42～43回定期中会、臨時中会記録。第43回東京中会記録は印刷資料。
24	東京中会記録十三／千九百三〇年四月以降	1930(S5)年 ～1932(S7)年	手書き資料。昭和5年4月～昭和7年4月。第44～46回定期中会、臨時中会記録。
25	東京中会記録／〔一九三二年四月ヨリ一九三四年八月マデ 第十四〕	1932(S7)年 ～1934(S9)年	手書き資料。昭和7年4月～昭和9年8月。第46～48回定期中会、臨時中会記録。ただし、「第46回東京中会記録続」。
26	東京中会記録	1934(S9)年 ～1938(S13)年	手書き資料。昭和9年7月2日～昭和13年3月15日。第49～51回定期中会、臨時中会記録。
27	東京中会記録	1938(S13)年 ～1940(S15)年	手書き資料。昭和13年4月5日～12月3日。第52～54回定期中会、臨時中会記録。
28	自昭和拾六年四月第五十五回東京中会記録	1941(S16)年 ～1944(S19)年	ノートに手書き。昭和16年6月～昭和19年4月。第55～58回定期中会、臨時中会記録。ただし、第57回東京中会記録欠、第58回は「元東京中会感謝礼拝並報告会(第五拾八回記録)」。
29	〔第十回委員会〕	1918(T7)年 ～1923(T12)年	手書き資料。表紙なし。大正7年4月～大正12年7月中会常置委員会記録。
30	〔大正十三年／第十五回常置委員会〕	1924(T13)年 ～1930(S5)年	手書き資料。表紙なし。大正13年2月～昭和5年度常置委員会記録。
31	〔一九三一年(昭和六年)度常置委員会記録〕	1932(S7)年 ～1937(S12)年	手書き資料。1932年度～1937年度常置委員会記録。



## CS 教会研究の歴史と資料の現状 (2)

32	自昭和拾三年四月至昭和拾六年六月／東京中会常置委員会記録	1938(S13)年 ～1944(S19)年	手書き資料。昭和13年度～昭和17年度東京中会区常置委員会記録、昭和18年度日本基督教団元東京中会区調整協力委員会記録(1944年4月10日)。
----	------------------------------	---------------------------	--

リール1巻所収の簿冊は、日本一致基督教会中会記録、第一東京中会記録、第二東京中会記録、北部中会記録、伝道委員会記録が混在している。

リール2～3巻は、連続性をもつ東京中会記録が収められている。リール2巻最初の簿冊は、「自明治三十一年十月至明治三十三年六月／東京中会記録巻」で、このような形態の簿冊名はリール3巻の資料番号25「東京中会記録／〔一九三二年四月ヨリ一九三四年八月マデ 第十四〕」まで続いている。資料番号26～28は、1934年7月2日臨時中会から1944年4月第58回東京中会までの記録であり、リール3巻には、1918年4月から1942年度の東京中会区常置委員会記録(資料番号29～32)も収められている。